

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

＜第48週＞百日咳の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い／その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-10

＜インフルエンザ＞定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、第48週は2.29であった

＜感染性胃腸炎＞定点当たり報告数は第42週以降増加が続いていたが、第48週の定点当たり報告数は13.6であり、前週の報告数を大きく上回った



病原体情報
P.11-14

インフルエンザウイルス 2007/08シーズン／感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン／麻疹ウイルス 2007年



速報
P.15-16

2007/08シーズン初のインフルエンザウイルスB型の分離について－京都市／2007/08シーズンのA/H1N1亜型およびB型インフルエンザウイルスの分離－広島県



海外感染症情報
P.17

ウガンダでのエボラ出血熱の流行／中国での鳥インフルエンザ流行状況



感染症の話
P.18

＜今週はお休みです＞



読者のコーナー
＜今週は該当記事はありません＞



グラフ総覧(48週)
P.19-25



48週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

※2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

<第48週コメント> 12月6日集計分

◆全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

※感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

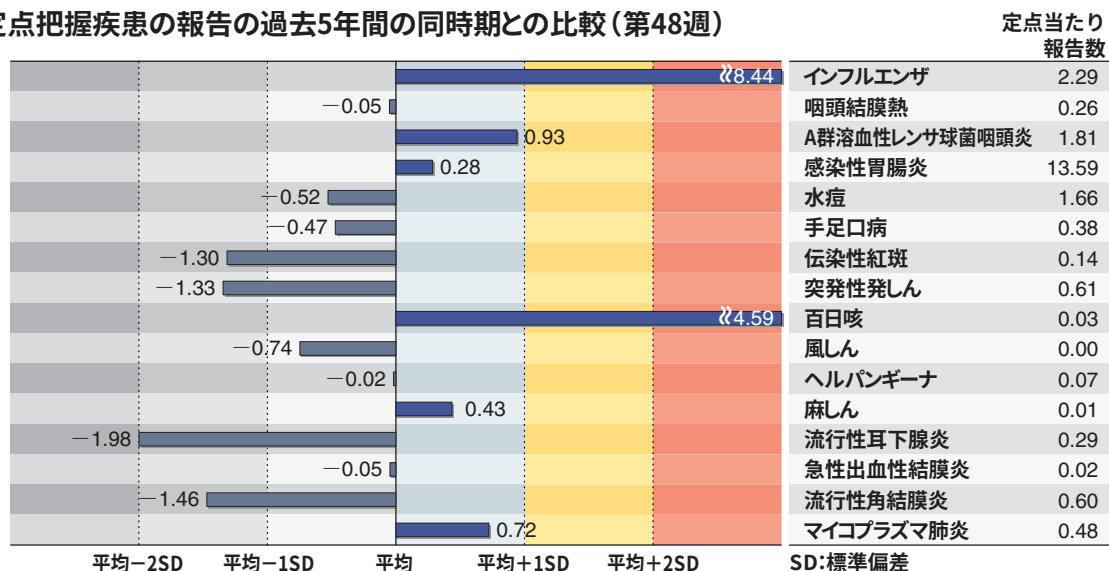
- 1類感染症:** 報告なし
- 2類感染症:** 結核 236例
- 3類感染症:** 細菌性赤痢 4例
 - (感染地域: 千葉県1例、インドネシア1例、モロッコ1例、エチオピア1例)
 - 腸管出血性大腸菌感染症** 39例(うち有症者20例、うちHUS 1例)
 - 感染地域: すべて国内
 - 国内の多い感染地域: 東京都(7例)、広島県(5例)*、宮城県(4例)
 - *の全例は、第46週から続く保育園に関連する集団発生
 - 年齢群: 10歳未満(19例)、10代(3例)、20代(5例)、30代(7例)、40代(2例)、50代(1例)、70歳以上(2例)
 - 血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(13例)、O26 VT1(10例)、O145 VT1(5例)、O157 VT2(5例)、O111 VT1・VT2(3例)、O91 VT1(1例)、O121 VT2(1例)、その他/不明(1例)
 - パラチフス** 1例(感染地域: セネガル)
- 4類感染症:** A型肝炎 2例(感染地域: 福井県/ウズベキスタン1例、エジプト1例)
 - つつが虫病** 29例
 - [感染地域: 鹿児島県6例、岐阜県4例、千葉県3例、福島県2例、群馬県2例、東京都2例、神奈川県2例、広島県2例、山梨県1例、兵庫県1例、和歌山県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)1例、国外(国不明)1例]
 - デング熱** 1例(感染地域: メキシコ)
 - マラリア** 1例(熱帯熱__感染地域: ウガンダ)
 - レジオネラ症** 7例(すべて肺炎型)
 - 年齢群: 40代1例、50代1例、60代2例、80代2例、90代1例
 - 感染地域: 福島県1例、新潟県1例、京都府1例、大阪府1例、愛媛県1例、熊本県1例(温泉)、国内(都道府県不明)1例
- 5類感染症:** アメーバ赤痢 9例(腸管アメーバ症6例、腸管外アメーバ症2例、腸管・腸管外アメーバ症1例)
 - 感染地域: 国内6例、台湾1例、タイ1例、米国(ハワイ)1例
 - 感染経路: 経口3例、性的接触4例(異性間1例、同性間1例、異性間・同性間不明2例)、不明2例
 - ウイルス性肝炎** 2例 B型1例__感染経路: 性的接触(異性間) C型1例__感染経路: 針等の刺入
 - クロイツフェルト・ヤコブ病** 6例
 - (孤発性プリオン病古典型5例、遺伝性プリオン病家族性1例)
 - 劇症型溶血性レンサ球菌感染症** 1例(70代、死亡)
 - 後天性免疫不全症候群** 8例(AIDS 1例、無症候5例、その他2例)
 - 感染地域: すべて国内
 - 感染経路: 性的接触7例(異性間2例、同性間5例)、不明1例
 - ジアルジア症** 1例(感染地域: 国内)
 - 梅毒** 14例(早期顕症I期4例、早期顕症II期3例、無症候7例)
 - 破傷風** 1例(90代)
 - バンコマイシン耐性腸球菌感染症** 2例
 - (遺伝子型: VanB 1例__菌検出検体: 尿、遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 血液)

(補)他に第47週までに診断されたものの報告遅れとして、細菌性赤痢1例(感染地域: ネパール)、レジオネラ症2例[ともに60代__感染地域: 群馬県1例(温泉)、富山県1例(温泉)]、急性脳炎2例[単純ヘルペスウイルス1例(40代)、病原体不明1例(9歳)]、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(60代)、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例(遺伝型: VanC__菌検出検体: 尿)等の報告があった。

◆定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第48週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。

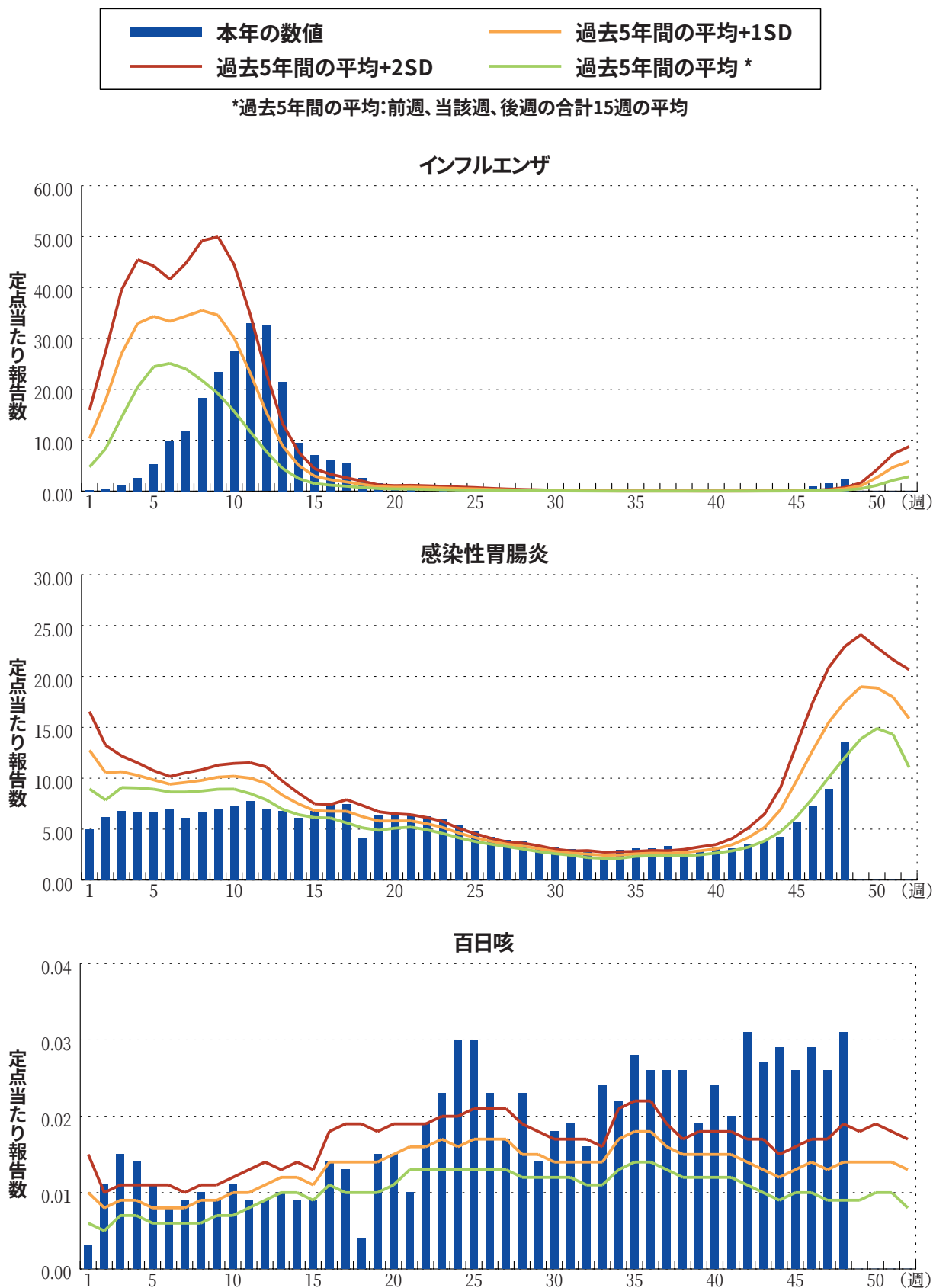
インフルエンザ: 定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多い。都道府県別では北海道(14.8)、岡山県(7.2)、和歌山県(6.4)、兵庫県(5.2)、青森県(4.1)、神奈川県(3.9)、千葉県(2.8)、山梨県(2.8)が多い。

小児科定点報告疾患: **RSウイルス感染症**は2,094例の報告があり、報告数は第42週以降増加が続いている。年齢別では、1歳以下の報告数が全体の約75%を占めている。**咽頭結膜熱**の定点当たり報告数は第44週以降増加が続いている。都道府県別では青森県(1.51)、山梨県(1.13)、佐賀県(1.09)が多い。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**の定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別では山口県(3.5)、埼玉県(2.9)、富山県(2.8)、石川県(2.8)が多い。**感染性胃腸炎**の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いている。都道府県別では長崎県(34.7)、大分県(32.1)、佐賀県(29.0)、福岡県(26.7)、熊本県(26.2)が多い。**水痘**の定点当たり報告数は第41週以降増加が続いている。都道府県別では新潟県(3.9)、福島県(3.7)、岩手県(3.0)、宮城県(2.9)が多い。**手足口病**の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では鳥取県(1.42)、大分県(1.42)、島根県(1.09)が多い。**伝染性紅斑**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(0.66)、北海道(0.41)、秋田県(0.40)が多い。**百日咳**の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では岐阜県(0.23)、千葉県(0.16)、新潟県(0.07)、香川県(0.07)が多い。**風しん**の報告数は7例と増加した。都道府県別では青森県3例、宮城県、千葉県、東京都、山口県から各1例の順であった。**ヘルパンギーナ**の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では岩手県(0.41)、秋田県(0.26)、福島県(0.19)が多い。**麻しん**の報告数は増加し、10道府県から44例の報告があった。都道府県別では北海道12例、大阪府8例、神奈川県、兵庫県から各5例、青森県、千葉県、福岡県から各3例、愛知県、大分県から各2例、埼玉県1例の順であった。**流行性耳下腺炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では秋田県(1.17)、新潟県(1.03)、群馬県(0.84)が多い。

基幹定点報告疾患: **マイコプラズマ肺炎**の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(2.7)、福島県(2.6)、宮城県(2.3)が多い。**成人麻しん**の報告数は横ばいであり、3道府県から3例の報告があった。都道府県別では、埼玉県、神奈川県、大阪府から各1例であった。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2007年第1～48週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





注目すべき感染症

◆インフルエンザ

インフルエンザ(Influenza)は、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症であり、わが国においては、例年12月中旬もしくは1月に全国的な流行が始まり、多くのシーズンにおいて年間1,000万人以上の発病者がみられている。

臨床症状としては、インフルエンザウイルスの感染を受けてから1～3日間ほどの潜伏期間の後に、発熱(通常38℃以上の高熱)、頭痛、全身倦怠感、筋肉痛・関節痛などが突然現われ、咳、鼻汁などの上気道炎症状がこれに続き、約1週間の経過で軽快するのが典型的なインフルエンザで、いわゆる「かぜ」に比べて全身症状が強い。とくに、高齢者や慢性疾患を持つ患者では、入院や死亡の危険が増加する。小児では中耳炎の合併、熱性痙攣や気管支喘息を誘発することもある。また近年、乳幼児を中心とした小児において、急激に悪化する急性脳症が重篤な合併症として存在することが明らかとなっている。

感染症発生動向調査によると、インフルエンザの定点当たり報告数は2007年第42週以降増加が続いており、第48週は2.29(報告数10,794)であった(図1)。都道府県別では、北海道(14.8)、岡山県(7.2)、和歌山県(6.4)、兵庫県(5.2)、青森県(4.1)、神奈川県(3.9)、千葉県(2.8)、山梨県(2.8)、埼玉県(2.7)、沖縄県(2.6)の順となっており、患者報告数の急増が続いている北海道をはじめ、より広範な地域での患者発生数の増加が目立つ(図2)。シーズン開始の第36週から第48週までの定点当たり累積報告数は6.19(累積報告数29,504)であり、年齢別では5～9歳44.9%、0～4歳21.6%、10～14歳13.9%、30～39歳7.1%の順となっており、最多を占める5～9歳からの報告数の割合は更に増加傾向にある(図3)。第36週以降のインフルエンザウイルスの分離・検出報告数は24都道府県から265件であり、うちAH1亜型247件(93.2%)、AH3亜型16件(6.0%)、B型2件(0.8%)となっており、現時点での国内におけるインフルエンザ流行の原因ウイルスの大半はAH1亜型であると思われる(図4、図5)。

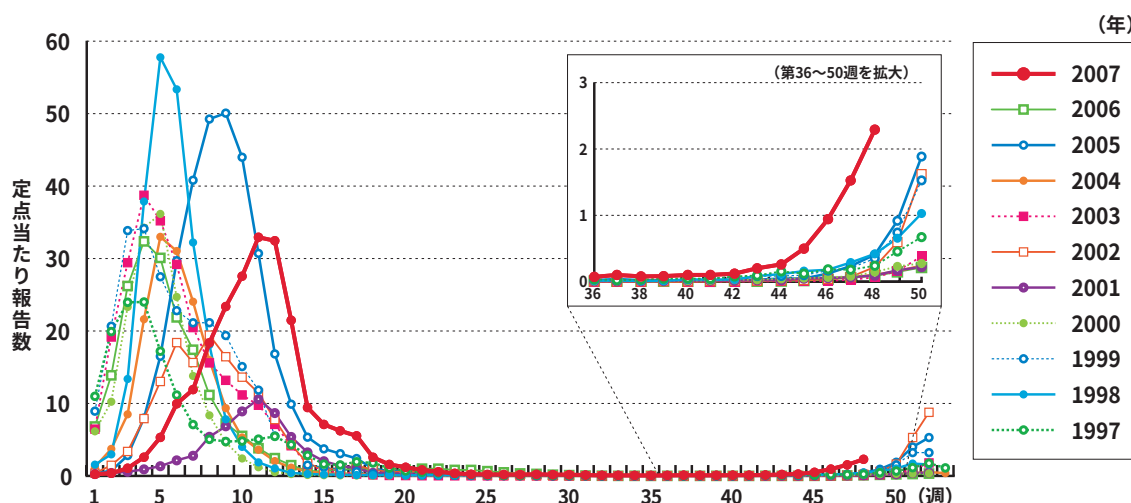


図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(1997年～2007年第48週)

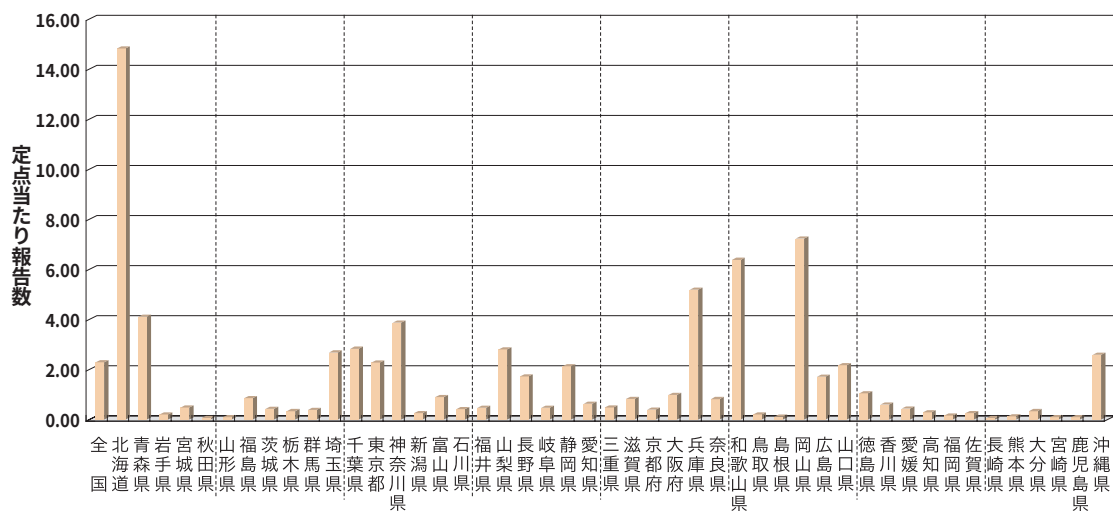


図2. インフルエンザの都道府県別報告状況 (2007年第48週)

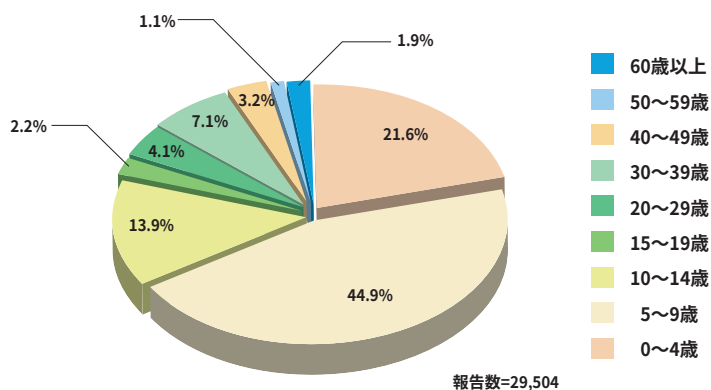


図3. 2007/08シーズンのインフルエンザ累積報告数の年齢群別割合 (2007年第36～48週)

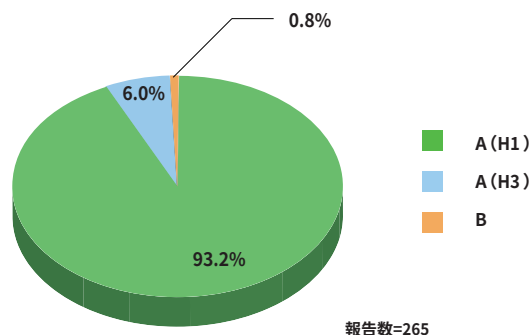


図4. インフルエンザウイルス型別分離・検出報告割合(2007年第36～48週)

(病原微生物検出情報: 2007年12月6日現在報告数)

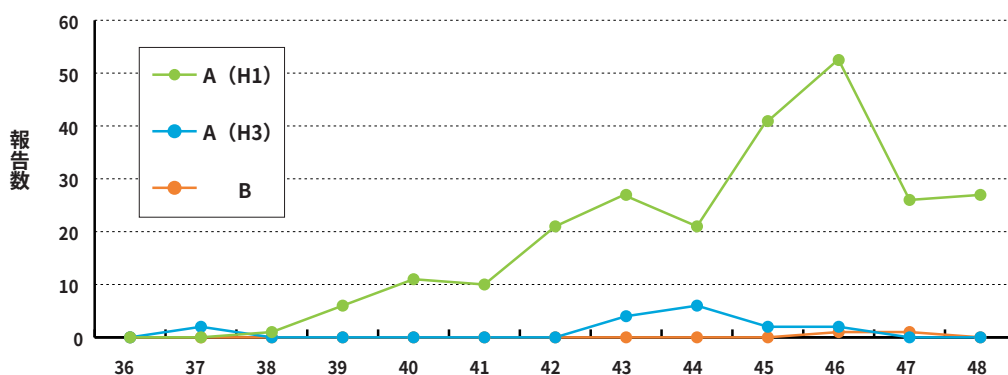


図5. インフルエンザウイルス分離・検出報告数の週別推移(2007年第36～48週)

(病原微生物検出情報: 2007年12月6日現在報告数)

第47週に、インフルエンザの定点当たり報告数の全国平均値は、流行開始の指標である定点当たり報告数1.0を上回ったが、第48週も継続的に増加している。今後も比較的短期間のうちにインフルエンザの患者発生数は大きく増加し、より本格的な流行へと発展する可能性が高い。今後のインフルエンザの発生動向にはより一層の注意が必要である。

インフルエンザの予防の基本は、流行前にワクチン接種を受けることであり、ある程度の発病防止と罹患した場合の重症化防止に有効であると報告されている。今シーズンのインフルエンザワクチンを接種予定でまだ接種を完了していない人は、速やかに接種を完了することが望まれる。また、流行時には外出時のマスクの利用や帰宅時のうがい、手洗いは、かぜの予防と併せて奨められる。さらにインフルエンザの主な感染経路が飛沫感染であることから、インフルエンザに罹患し、咳嗽などの症状のある人は特に、周囲への感染拡大を防止する意味から、マスクの着用が推奨される。

◆感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は多種多様な原因によるものを包含する症候群であるが、全国約3,000カ所の小児科定点からの患者発生報告数が増加するのは冬季であり、その大半はノロウイルスやロタウイルス等のウイルス感染が原因であると推測されている(IASR, Vol 24, No 12, p321-322参照)。また、患者発生のピークは例年12月の中旬以降となることが多く(図1)、その時期の感染性胃腸炎の、特に集団発生例の原因の多くはノロウイルスによるものであると推測される(感染症情報センターホームページ <http://idsc.nih.go.jp/iasr/prompt/graph-kj.html>)。

ノロウイルス感染症の潜伏期間は数時間～数日(平均1～2日)で、主な症状は嘔気・嘔吐及び下痢であり、嘔吐・下痢は1日数回から多いときには10回以上のこともある。しかし、症状持続期間は数時間～数日(平均1～2日)と比較的短く、基礎疾患等の要因がない限りは、重症化して長期にわたり入院を要することは少ない。また、発熱の頻度は高くない。治療では特效薬はなく、対症療法となるが、最も重要なことは水分補給によって脱水を防ぐことである。

これまでノロウイルスの感染経路としては、食中毒としての経口感染がよく知られていたが、患者や無症状病原体保有者との直接的もしくは間接的な接触感染や、患者の嘔吐物や下痢便を介した飛沫感染等のヒト・ヒト感染があり、その感染力は非常に強い。また、昨年の東京都豊島区のホテルにおいて発生した集団感染事例のように、「吐物や下痢便の処理が適切に行われなかったために残存したウイルスを含む小粒子が、掃除などの物理的刺激によって舞い上がり、それを間近とは限らない場所で吸引し、経食道的に嚥下して消化管へ至る感染経路」である「塵埃感染」が発生する場合がある(感染症情報センターホームページ「ノロウイルスの感染経路」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/0702keiro.html>)。ノロウイルスの感染予防には、流水・石けんによる手洗いの励行と吐物や下痢便の適切な処理がきわめて重要である(感染症情報センターホームページ「家庭等一般の方々へ」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-a.html>、「医療従事者・施設スタッフ用」: <http://idsc.nih.go.jp/disease/norovirus/taio-b.html>)。

感染症発生動向調査によると、感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第42週以降増加が続いていたが、2007年第48週の定点当たり報告数は13.6(報告数41,003)であり、前週の報告数(定点当たり報告数9.0、報告数27,123)を大きく上回った(図1)。都道府県別では長崎県(34.7)、大分県(32.1)、佐賀県(29.0)、福岡県(26.7)、熊本県(26.2)、石川県(23.8)、鹿児島県(21.4)の順であり、九州地域の各県の報告数の増加が目立っている(図2)。発生報告数を年齢別にみると、0～1歳24.1%、2～3歳20.6%、4～5歳16.8%の順であり、5歳以下で全報告数の60%前後を、7歳以下で70%以上を占めている(図3)のは例年と同様である。

1997年から2006年までの過去10年間に於いて感染性胃腸炎の定点当たり報告数のピークの時期をみると、第50週が4回(1998年、1999年、2005年、2006年)、第51週が4回(1997年、2000年、2001年、2003年)、第49週が1回(2002年)、第52週が1回(2004年)の順となっており、全て第49～52週の間に報告数がピークとなっている。2007年の感染性胃腸炎の報告数も、今後更に増加し、間もなくピークを迎えるものと予想される。感染性胃腸炎の発生動向の推移には、今後とも注意が必要である。

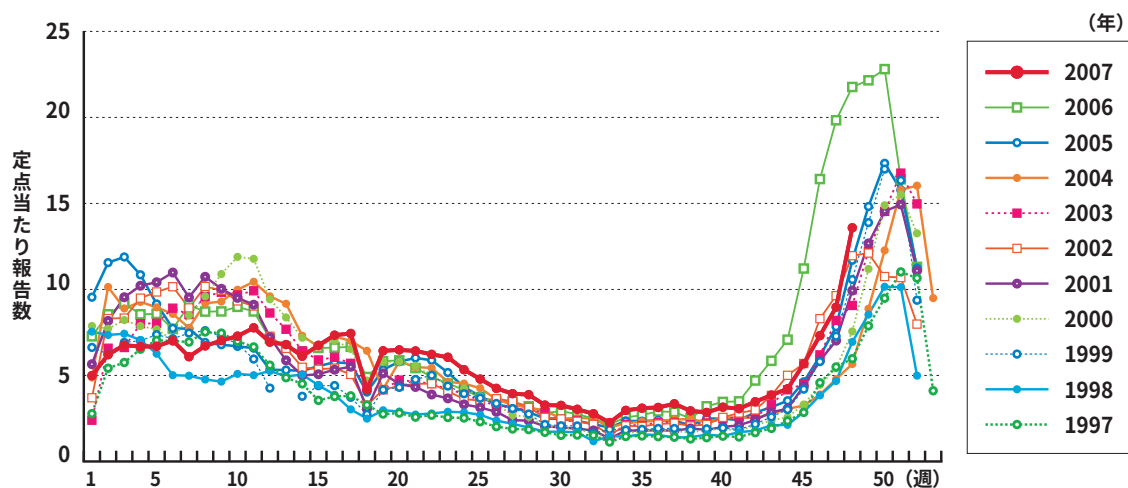


図1. 感染性胃腸炎の年別・週別発生状況(1997年～2007年第48週)

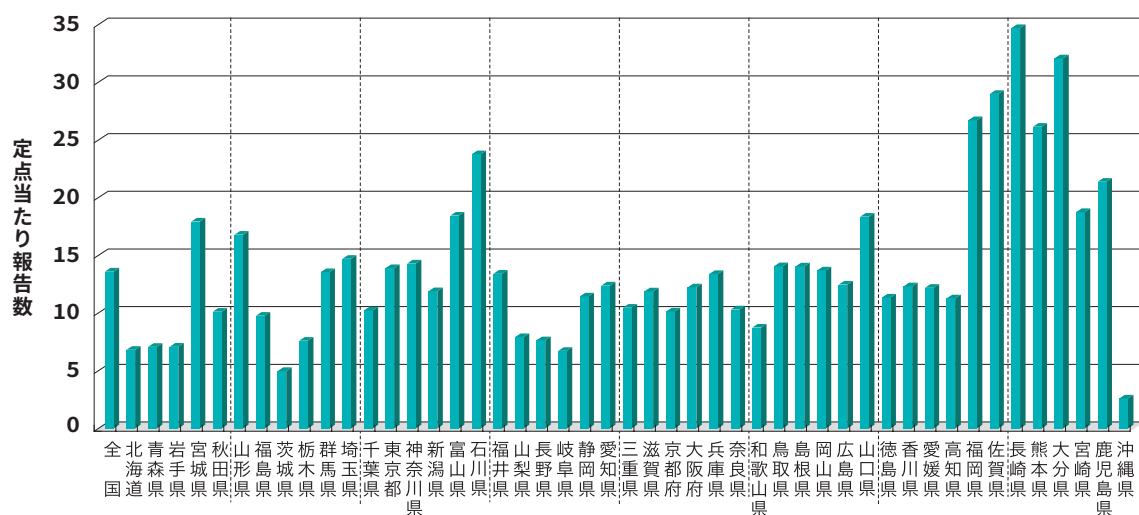


図2. 感染性胃腸炎の都道府県別報告状況(2007年第48週)

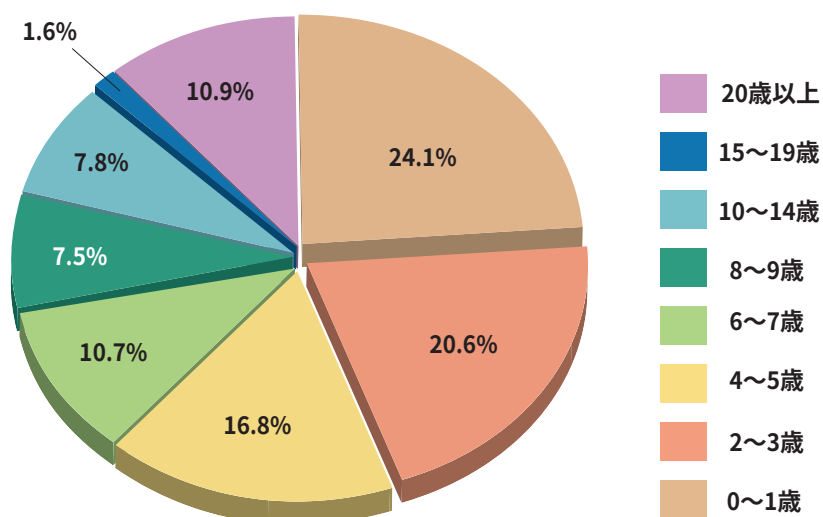


図3. 感染性胃腸炎の年齢群別割合(2007年第48週)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

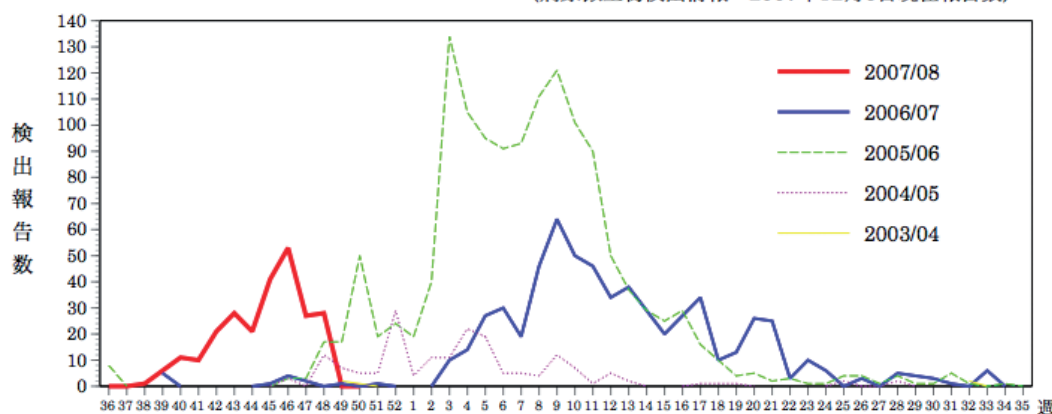
(2007年12月6日現在報告分)

◆インフルエンザウイルス 2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りAH1亜型の分離・検出が増加しており、第38～48週までに22都道府県から247件が報告されている(分離が227件、PCRのみでの検出が20件)。直近の4週間(第45～48週)では、北海道45件、神奈川県31件、大阪府16件、兵庫県10件、山梨県9件、山口県8件、富山県7件、千葉県、広島県各6件、長野県4件、高知県2件、宮城県、群馬県、埼玉県、静岡県、三重県各1件、計149件が報告されている。AH3亜型は第37週に愛知県2件、第43～44週に熊本県5件、埼玉県4件、千葉県1件、第45～46週に富山県4件、計16件の分離が報告されている。B型は第46週に京都府から山形系統株1件、第47週に広島県からビクトリア系統株1件の分離が報告されている(本号15～16ページ「速報」参照)。

週別インフルエンザウイルスAH1亜型分離・検出報告数、2003/04～2007/08シーズン

(病原微生物検出情報: 2007年12月6日現在報告数)



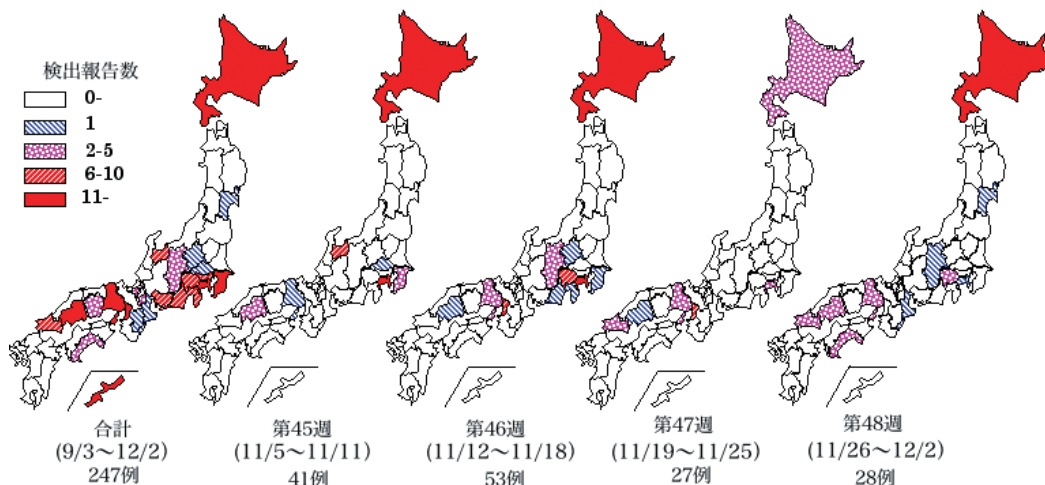
* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別インフルエンザウイルスAH1亜型分離・検出報告状況、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報: 2007年12月6日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

◆感染性胃腸炎関連ウイルス 2007/08シーズン

2007/08シーズンに入りノロウイルスgenogroup IIとサポウイルスの検出が増加している。第36～48週までにノロウイルスgenogroup I 1件、ノロウイルスgenogroup II 174件、サポウイルス81件の検出が報告されている。

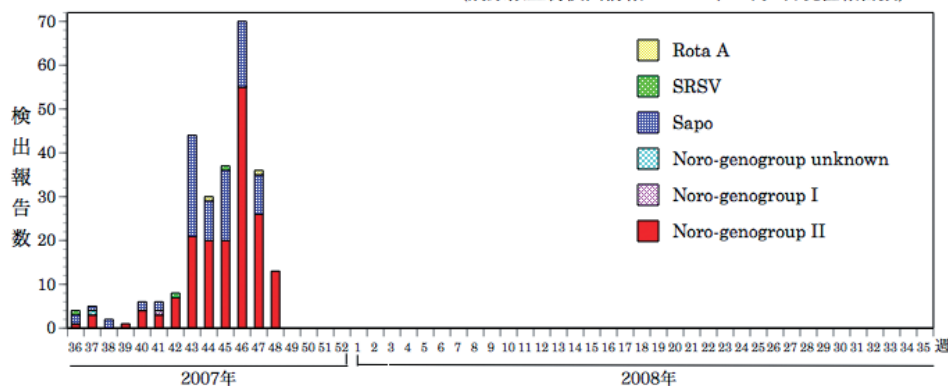
ノロウイルスgenogroup IIは大阪府30件、福岡県21件、神奈川県19件、滋賀県18件、新潟県、山梨県各13件、高知県、熊本県各9件、千葉県8件、秋田県7件など18道府県から検出が報告され、サポウイルスは熊本県31件、愛媛県25件、高知県15件、三重県6件、福岡県3件、神奈川県1件、ノロウイルスgenogroup Iは神奈川県1件の検出が報告されている。

また、ノロウイルスgenogroup IIによる保育所、小学校、老人施設、宴会場での集団感染15事例、食中毒および有症苦情が6事例、海外旅行での集団感染が1事例、その他・詳細不明5事例が報告されている(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html>)。遺伝子型別された12事例中9事例ではGII/4、3事例ではGII/3が検出されている。

この他、A群ロタウイルスの検出が第44週に熊本県で1件、第47週に高知県で1件報告されている。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報：2007年12月6日現在報告数)



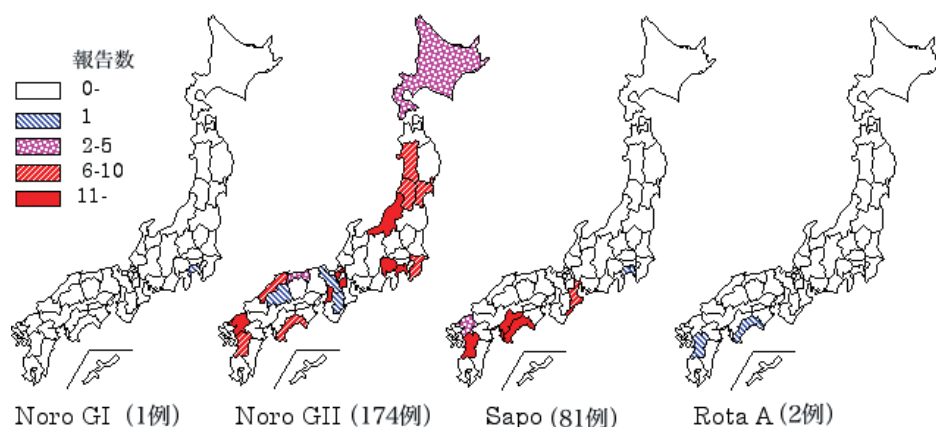
*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2007/08シーズン

(病原微生物検出情報：2007年12月6日現在報告数)



*各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した

IASR

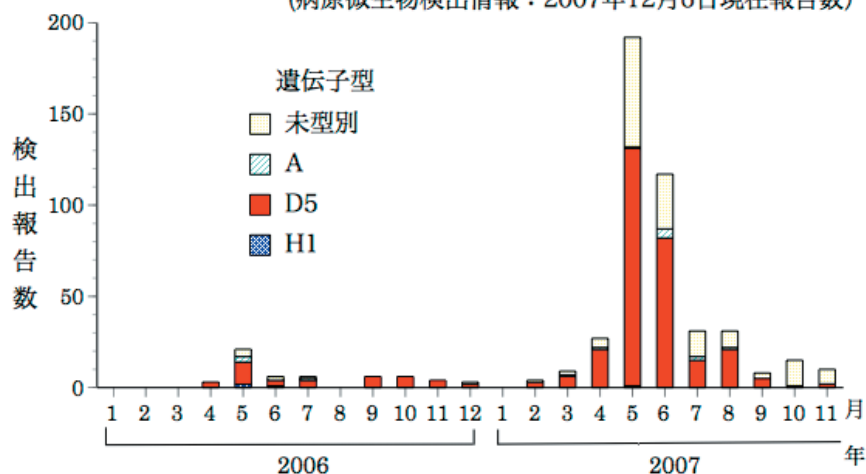
Infectious Agents Surveillance Report

◆麻疹ウイルス 2007年

2007年2～11月に29都道府県から麻疹ウイルスの分離・検出が444件報告されている。遺伝子型別まで実施された298件中286件ではD5型が検出されており、他にはA型11件(ワクチン接種後2週間以内に採取された検体から)とH1型1件(中国から帰国して5日後に発症した患者から)が検出されている。

D5型は2006年4～7月に千葉県と茨城県、9～12月に沖縄県から報告されていた。2007年は5月をピークに25都道府県から報告されており、8月に7道府県から21件、9月に3道府県から5件、10月に1県から1件、11月に2府県から2件が報告されている。

月別麻疹ウイルス分離・検出報告数、2006年1月～2007年11月
(病原微生物検出情報：2007年12月6日現在報告数)



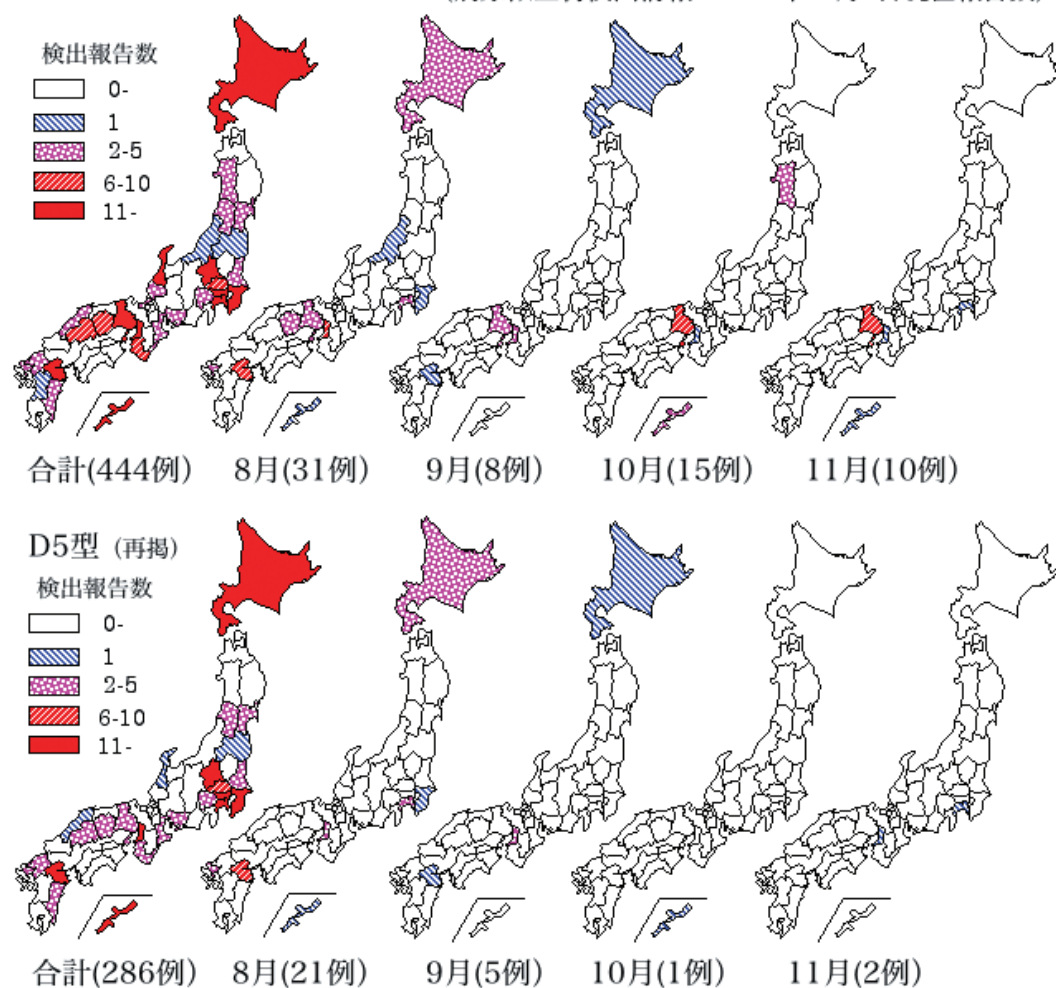
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report

月別都道府県別麻疹ウイルス分離・検出報告状況、2007年

(病原微生物検出情報: 2007年12月6日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した

IASR

Infectious Agents Surveillance Report



◆2007/08シーズン初のインフルエンザウイルスB型の分離についてー京都市

京都市では2007年11月(第46週)に採取された咽頭ぬぐい液から、今シーズン初めてインフルエンザウイルスB型を分離した。

京都市でのインフルエンザの定点当たり報告数は、第45週(11/5～11/11)が0.03、第46週(11/12～11/18)は0.10と増加傾向にある。全国でも同様に第45週が0.50で、第46週は0.94と大きく増加している。

当該患者は62歳の男性、症状は典型的なインフルエンザ症状で、発熱(38℃)、上気道炎、関節痛・筋肉痛を呈していた。

検体は、感染症発生動向調査事業の病原体定点の医療機関において、発病日の翌日(11/14)に採取され、京都市衛生公害研究所に搬入された。5%BPAで処理し、マイクロフィルターに通したものを検液とし、培養細胞(FL、RD-18S、Vero、MDCK)および、哺乳マウスに接種した。MDCK細胞で2代継代後6日目にCPE(細胞変性効果)が現われ、ウイルスが分離できた。なお、他の細胞および、哺乳マウスではウイルスは分離できなかった。また、インフルエンザ迅速キット「エスプラインインフルエンザA&B_N」(富士レビオ社)では、B型に明瞭な青色のラインを認めた。

分離したウイルスは、国立感染症研究所から配布された2007/08シーズン用同定キットを用い、赤血球凝集抑制(HI)試験(0.6%モルモット血球を使用)により同定した。その結果、山形系統の抗B/Shanghai(上海)/361/2002(ホモ価640)に対して、HI価は160、その他の抗A/Solomon Islands/3/2006(ホモ価320)、抗A/Hiroshima(広島)/52/2005(ホモ価640)および、抗B/Malaysia/2506/2004(ホモ価640)に対してはいずれも<10であり、B型(山形系統)と同定できた。また、検液および、MDCK細胞培養上清でZhangらがヘマグルチニン(HA)領域に設計したPrimer対を用いて、マルチプレックスRT-PCRおよびnested-PCR(AH1:944bp, AH3:591bp, B:767bp)を行ったところ、約767bpのバンドが確認でき、PCRでもB型と同定できた。

京都市でのインフルエンザウイルスB型の分離状況は、2006/07シーズンに5株分離しているが、いずれも全国と同様Victoria系統であった。今回分離した株は山形系統で、2004/05シーズンの5株以来、3シーズンぶりの分離であった。平成19年度(2007/08シーズン)のインフルエンザ混合ワクチンでのB型は、B/Malaysia/2506/2004(Victoria系統)が用いられているが、諸外国での流行は、Victoria系統から山形系統へ移行している傾向があるため[WHO, WER 82(40): 351-356, 2007, 抄訳はIASR 28(11): 327-328, 2007参照]、今後、インフルエンザ発生動向に注意が必要と考える。

京都市衛生公害研究所微生物部

近野真由美 松尾高行 梅垣康弘 竹上修平

(IASR 2008年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)

◆2007/08シーズンのA/H1N1亜型およびB型インフルエンザウイルスの分離ー広島県

広島県における2007/08シーズンのインフルエンザの流行については、第43週(10/22～10/28)に最初の患者が報告されて以降、徐々に患者の報告数が増加し、第48週(11/26～12/2)には定点医療機関当たり1.71に達するなど、例年より約1カ月早い動きを見せている。そうした中、我々は12月5日現在までに、MDCK細胞と発育鶏卵を用いて、A/H1N1亜型15株とB型1株を分離している。これらの分離ウイルス株は、国立感染症研究所から配布された2007/08シーズン(今シーズン)用のキットを用いた赤血球凝集抑制(HI)試験(0.75%モルモット赤血球を使用)により(亜)型を決定し、A/H1N1ウイルスについてはRT-PCR法によりNAの亜型も決定した。なお、A/H1N1亜型ウイルスについては参考のために2006/07シーズン(昨シーズン)の抗A/New Caledonia/20/99血清に対するHI価も併せて測定した。

HI試験の結果、A/H1N1亜型ウイルス15株については、抗A/New Caledonia/20/99血清に対して、いずれもHI価10～40(ホモ価320)であり、昨シーズンまでの流行で主流であったA/New Caledonia/20/99類似株とは抗原的に違っていると考えられた。一方、抗A/Solomon Islands/3/2006血清に対してはHI価160(ホモ価640)を示した株が5株認められたものの、HI価80を示す株が3株、HI価40を示す株が7株認められ、今シーズンのワクチン株であるA/Solomon Islands/3/2006とは、抗原性が若干異なるウイルスも認められた。

一方、B型ウイルスは11月22日に採取された咽頭ぬぐい液から分離されたものである。患者は15歳の高校生で、前日の夜から38℃の発熱と頭痛、咽頭痛、咳の主訴で医療機関を受診し、迅速診断キットでB型インフルエンザが疑われたため、当所においてウイルス分離を実施した。なお、この患者と同居している6歳の妹も、受診した医療機関において実施した迅速診断キットでB型と判定されているが、これまでのところ、その2名以外にはB型を疑う患者は認められていない。

分離ウイルス株について実施したHI試験の結果は、抗B/Shanghai(上海)/361/2002血清に対してHI価10未満(ホモ価640)、抗B/Malaysia/2506/2004血清に対してHI価160(ホモ価320)であったことから、分離株はVictoria系統の株と考えられた。

今シーズン前半の流行の主流ウイルスになっているA/H1N1亜型については、ワクチン類似株の他に変異株もみられていることから、今後の動向に注意が必要であると思われる。一方、今シーズンのB型ウイルスについては、現在までのところ、京都市で第46週(11/12～11/18)に山形系統のウイルス分離の報告があるだけであり、B型ウイルスについても、どちらの系統が増えてくるのか今後の動向に注目したい。

広島県立総合技術研究所保健環境センター

高尾信一 島津幸枝 佐々木由枝 福田伸治 妹尾正登

広島県感染症情報センター 久保 滋

木原こどもクリニック 木原幹夫

広島県福祉保健部保健対策室 高橋美佳 荒川 勇

(IASR 2008年1月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

＊関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

●ウガンダでのエボラ出血熱の流行

WHO/EPR 2007年12月7日－更新

ウガンダ西部のBundibugyo地区でのエボラ出血熱の疑い患者数は、死亡者22名を含む93名になっている。これらの患者9名から新型のエボラウイルスが検査で確認された。死亡者の中には医療従事者4名が含まれている。Bundibugyo地区内の5郡で感染が発生しているが、その地区の人口は、約25万人である。

これまでに接触者327名が確認されている。これらの接触者の追跡調査は、村の保健チームや地域医療担当者も参加して行われている。

強化サーベイランス活動の一環として診断確定のため疑い患者からの検体が採取され、送られている。米国アトランタのCDCの検査専門家が、診断や検体の分析についてウガンダウイルス研究所を支援している。

隔離病棟がKikyoおよびBundibugyo地区にある病院内に設置され、医療従事者および補助スタッフに対して、適切なトリアージと感染制圧対策についての訓練が行われている。複数のチームが、安全な埋葬方法について訓練されている。追加的な相互支援および社会支援が、2つの病院スタッフに提供されている。UNICEF、国境なき医師団およびWHOを含む現地の関係当局は、各種物資や医薬品や個人感染予防衣を提供して、現地の保健当局を支援している。保健省とIFRCは、感染リスクがある地域に情報を伝えるためのラジオ放送や、移動映写トラックの利用を含む社会的動員活動を強化している。ファクトシート、小冊子およびポスターも配布されている。

今回の感染事例で発見された新型エボラウイルスに関する生態学的な研究も計画されている。

WHOは、ウガンダへの旅行や貿易についてはいかなる制限も勧告していない。

●中国での鳥インフルエンザ流行状況

WHO/EPR 2007年12月4日－更新4

中国衛生部は、新たな鳥インフルエンザA/H5N1亜型感染患者1名の発生を報告した。この患者は12月2日に、中国の国家検査機関により診断が確定された。

江蘇省の24歳男性は、11月24日に発症し、11月27日に入院したが、12月2日に死亡した。これまでのところ、男性が発病する前に病鳥に接触したことを示唆するような証拠は確認されていない。患者との濃厚接触者は健康監視下に置かれているが、全員が健康状態良好である。

中国では、これまでに診断確定された患者26名中、17名が死亡した。

WHO/EPR 2007年12月9日－更新5

中国衛生部は、江蘇省で新たな鳥インフルエンザA/H5N1亜型感染患者1名の発生を報告した。患者は52歳の男性で、12月2日にH5N1型鳥インフルエンザウイルス感染で死亡した24歳男性の父親である。患者は、国内の当局によって健康監視下に置かれていた濃厚接触者のうちの一人である。患者は、12月3日に発症し、直ちに治療のために病院に搬送された。

中国では、これまでに診断確定された患者27名中、17名が死亡した。



感染症の話

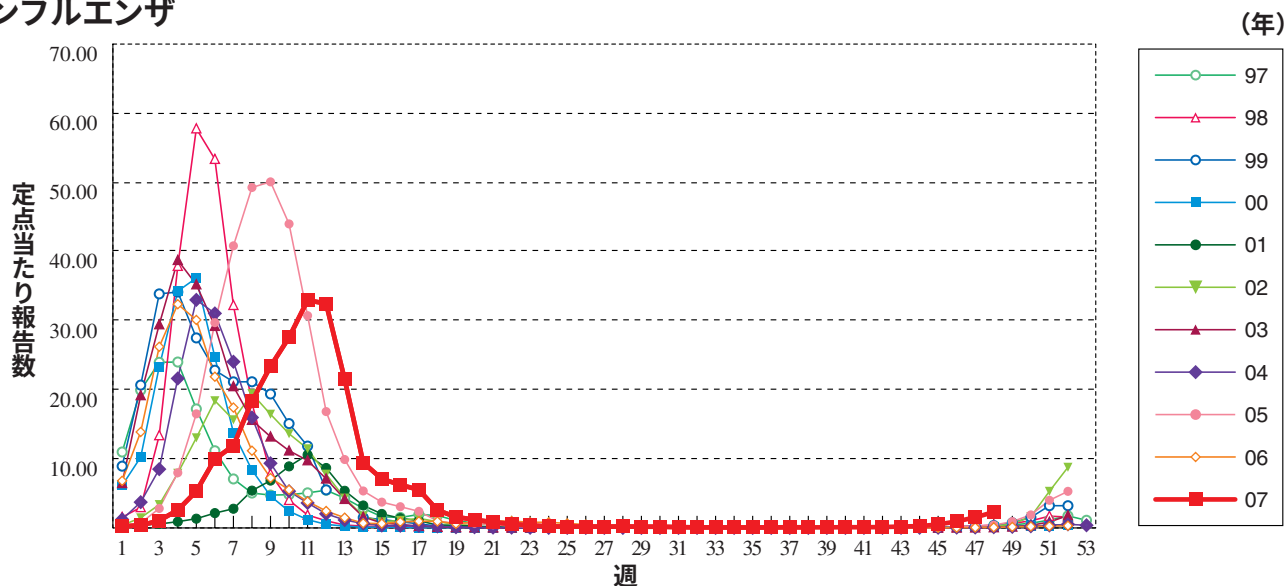
今週はお休みさせていただきます。

「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

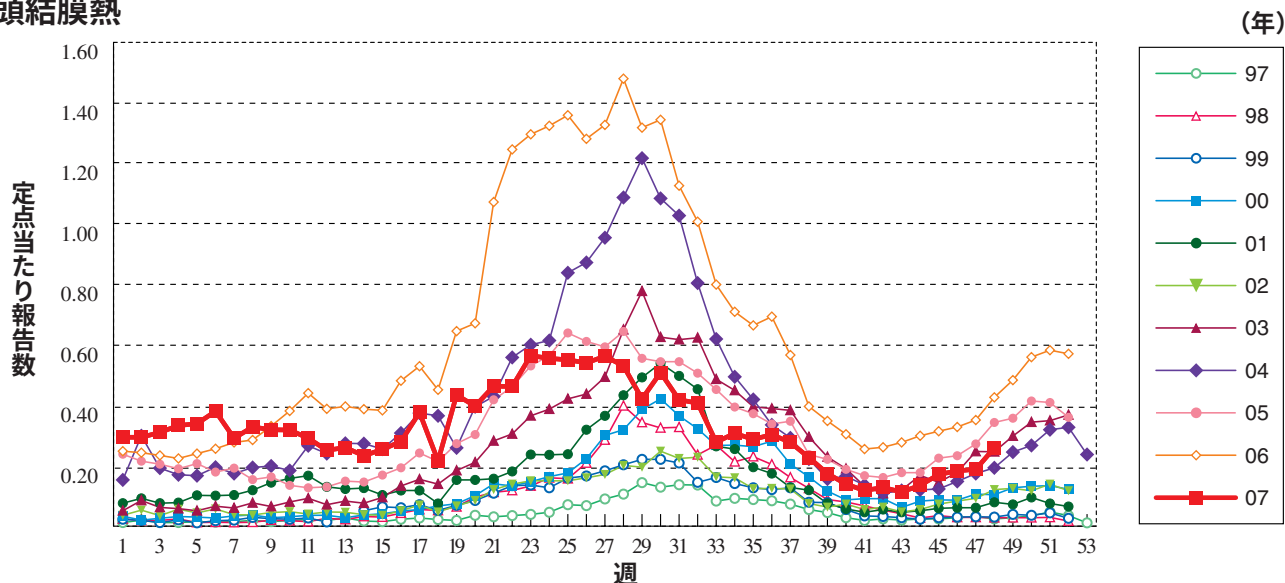


グラフ総覧(48週)

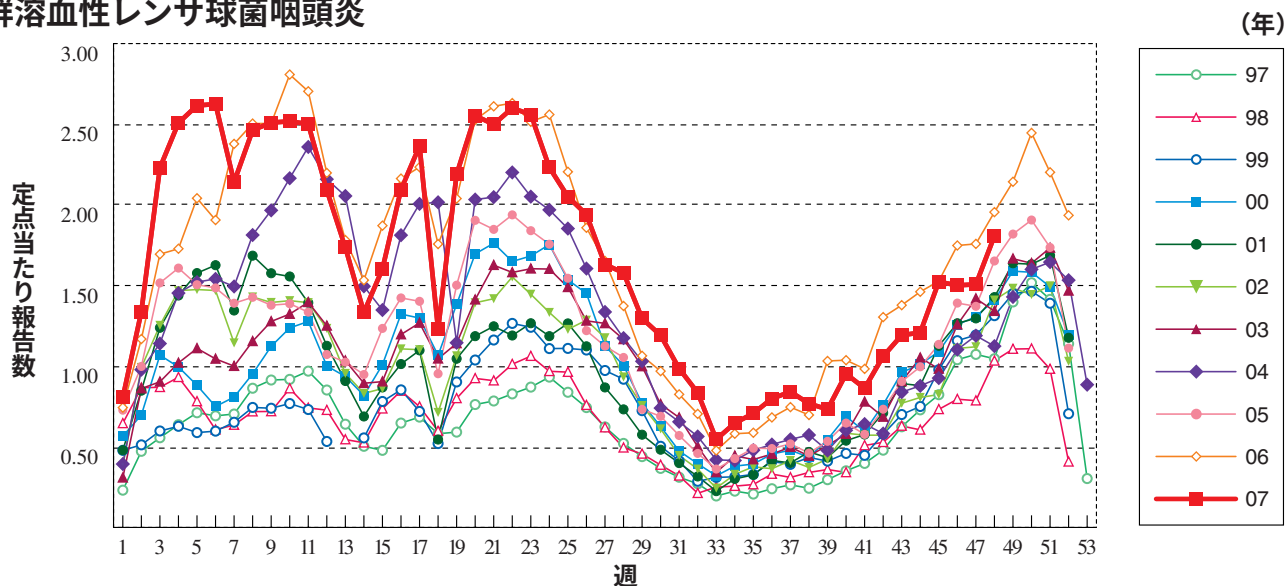
インフルエンザ



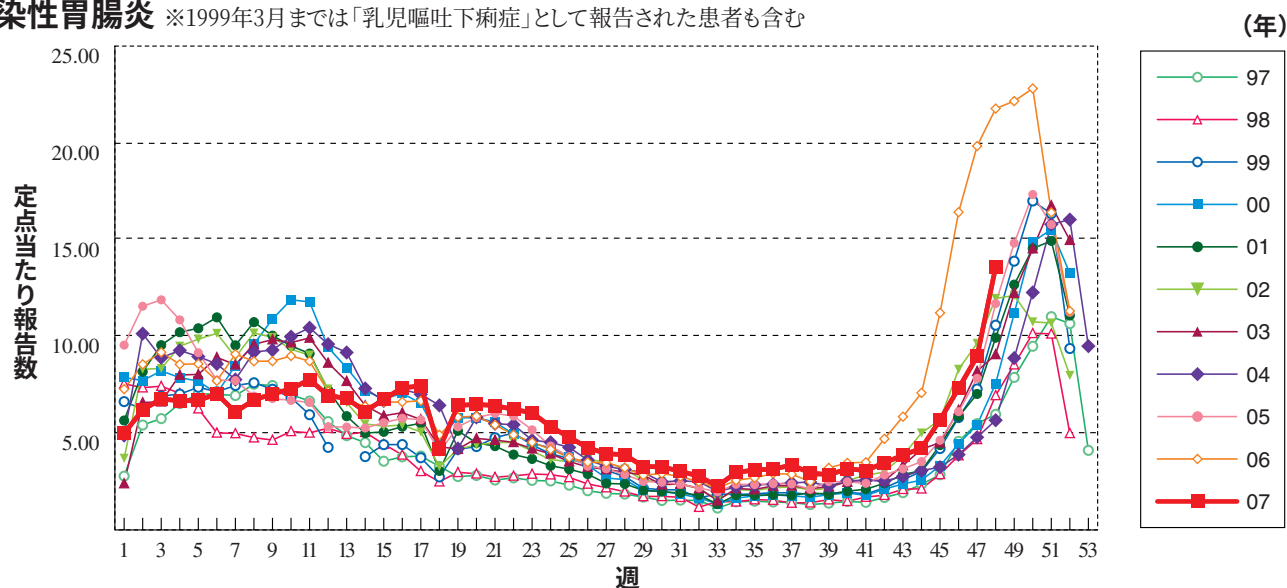
咽頭結膜熱



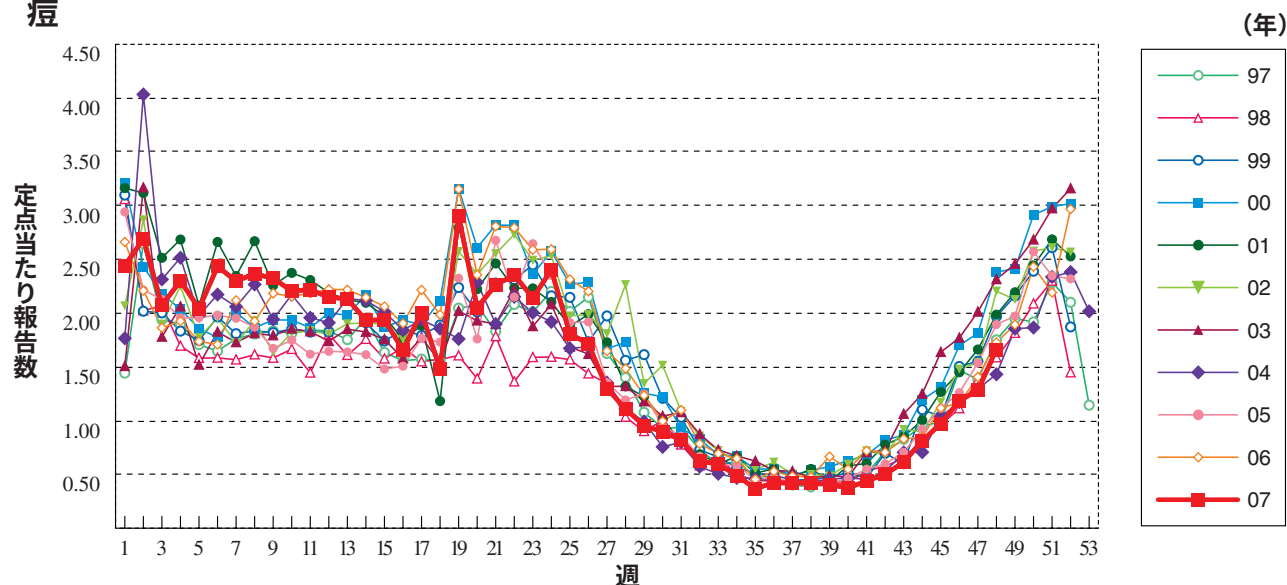
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



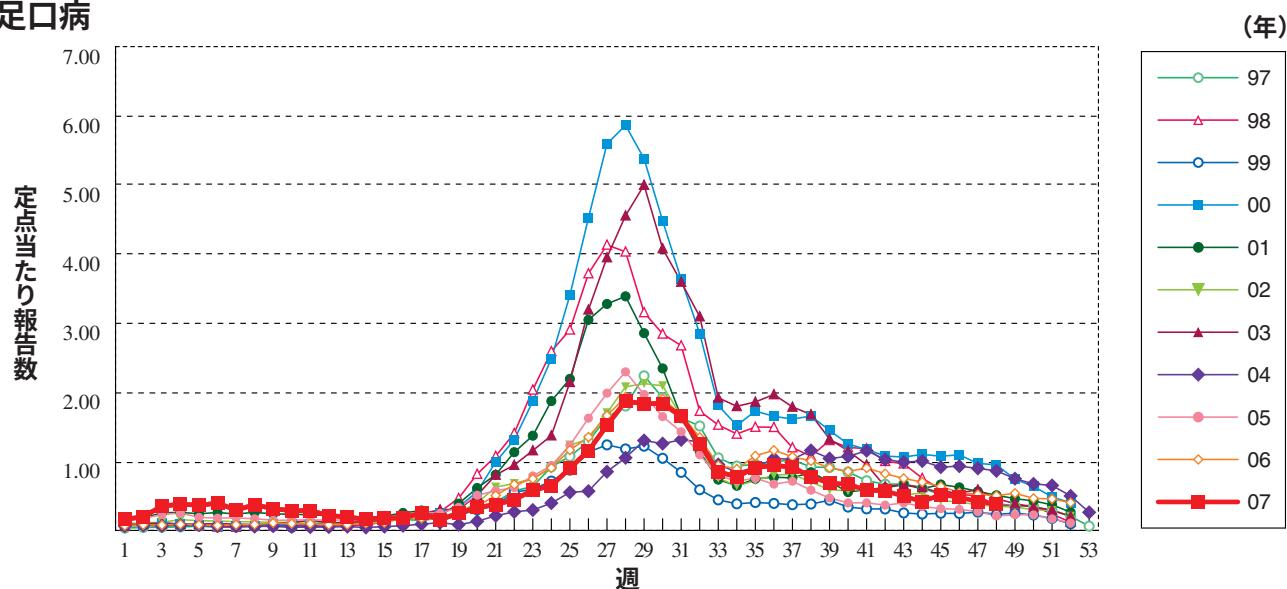
感染性胃腸炎 ※1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



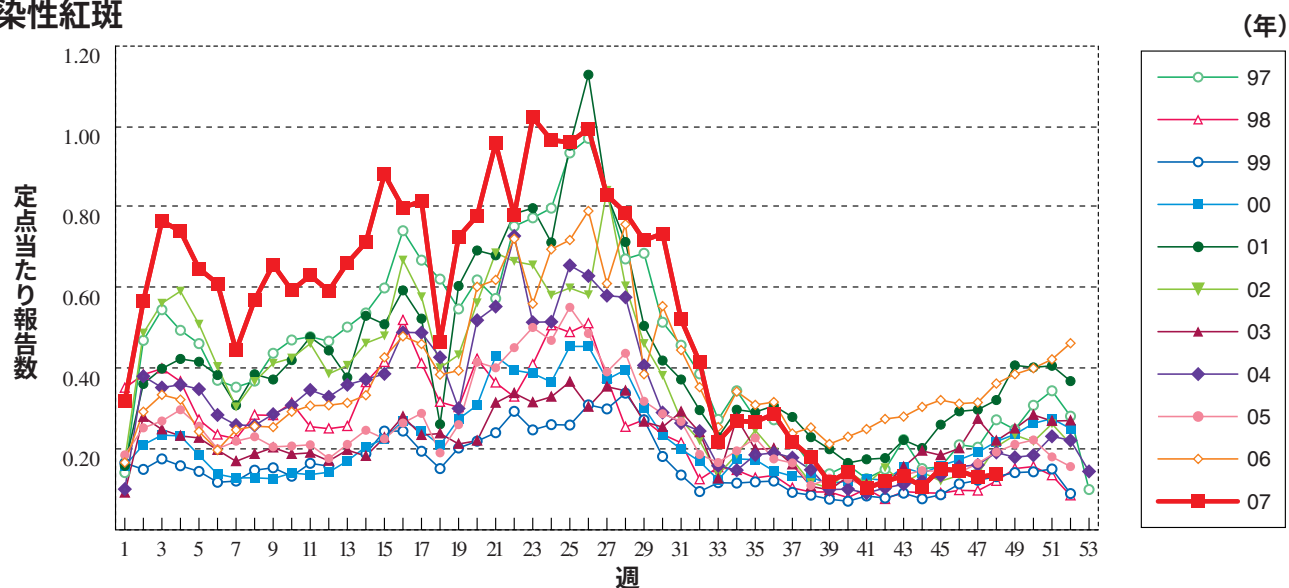
水痘



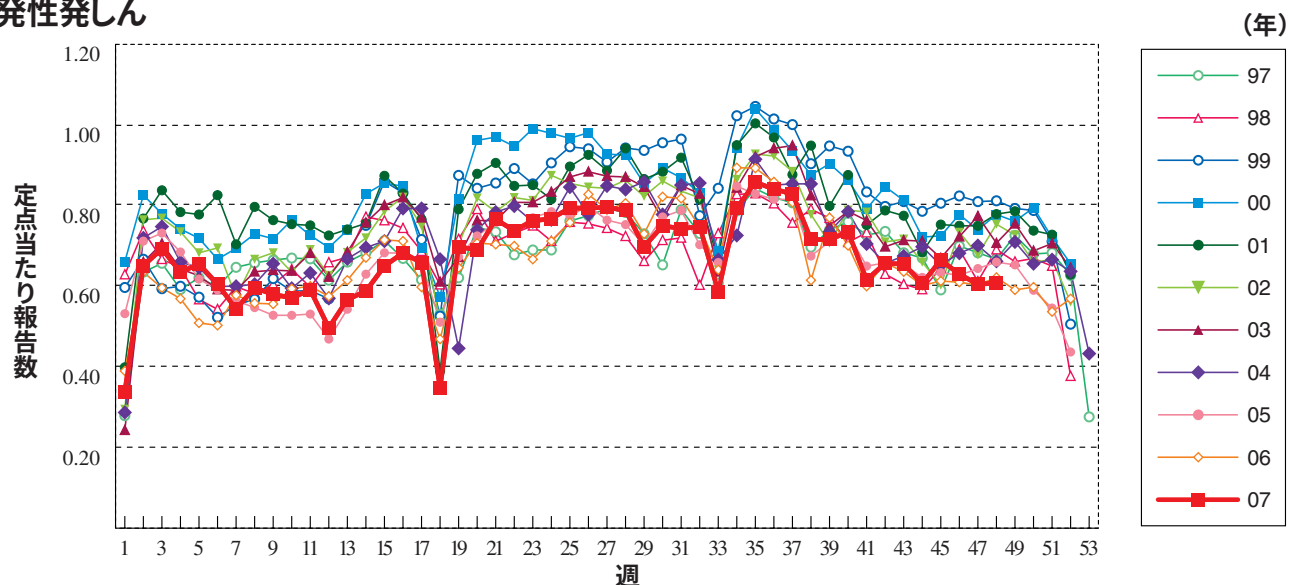
手足口病



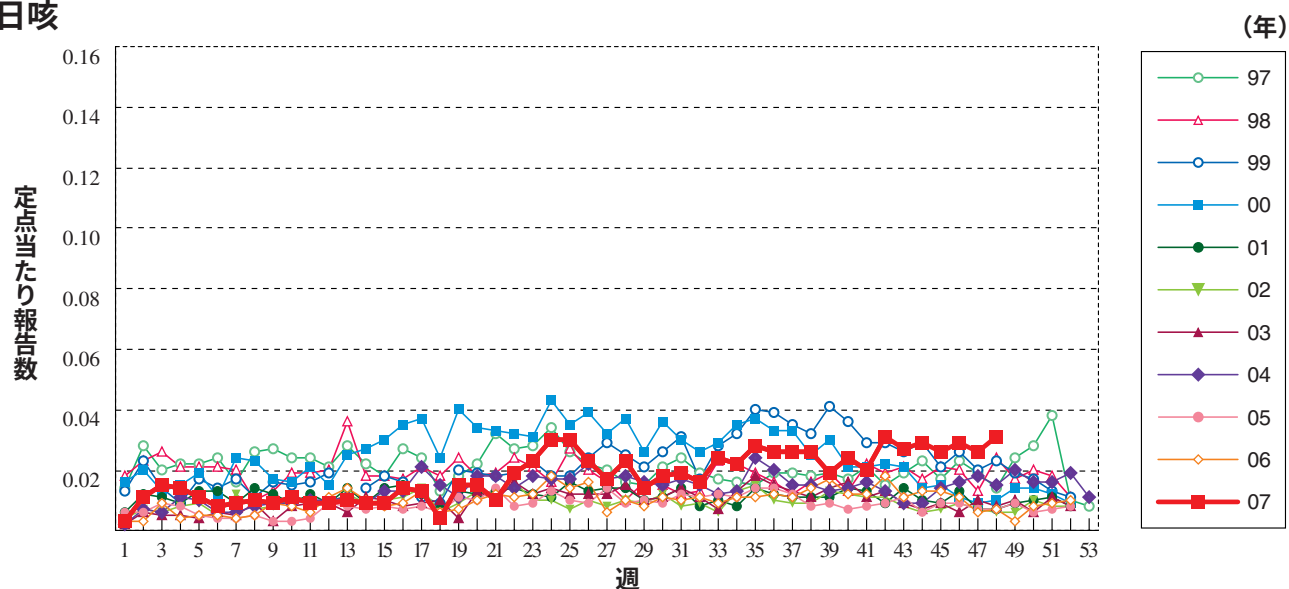
伝染性紅斑



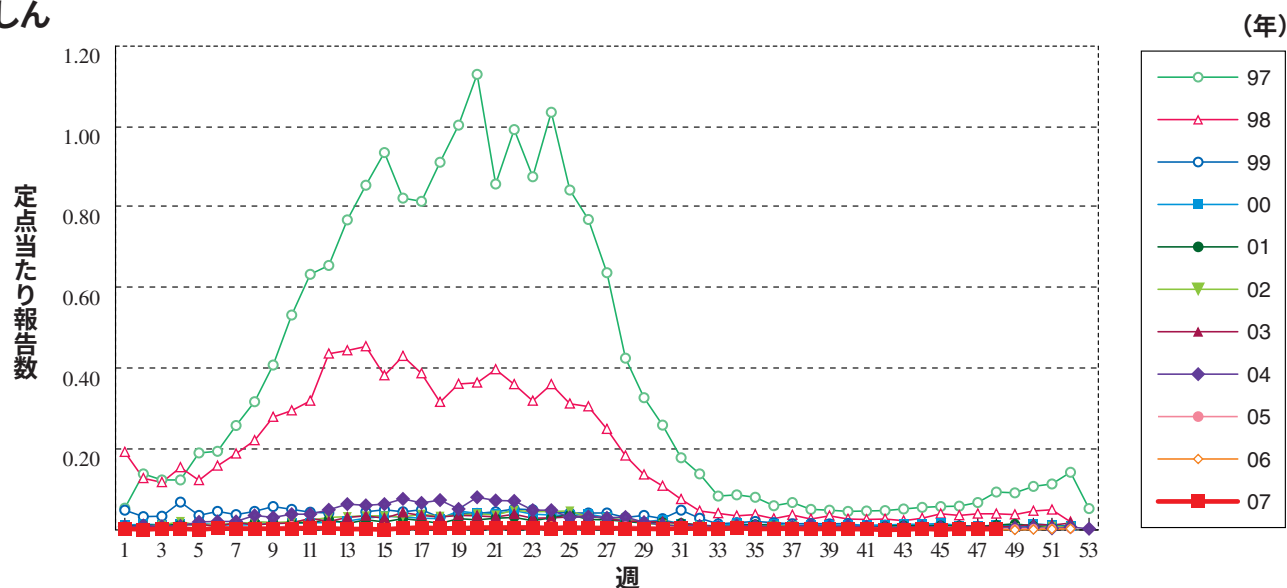
突発性発しん



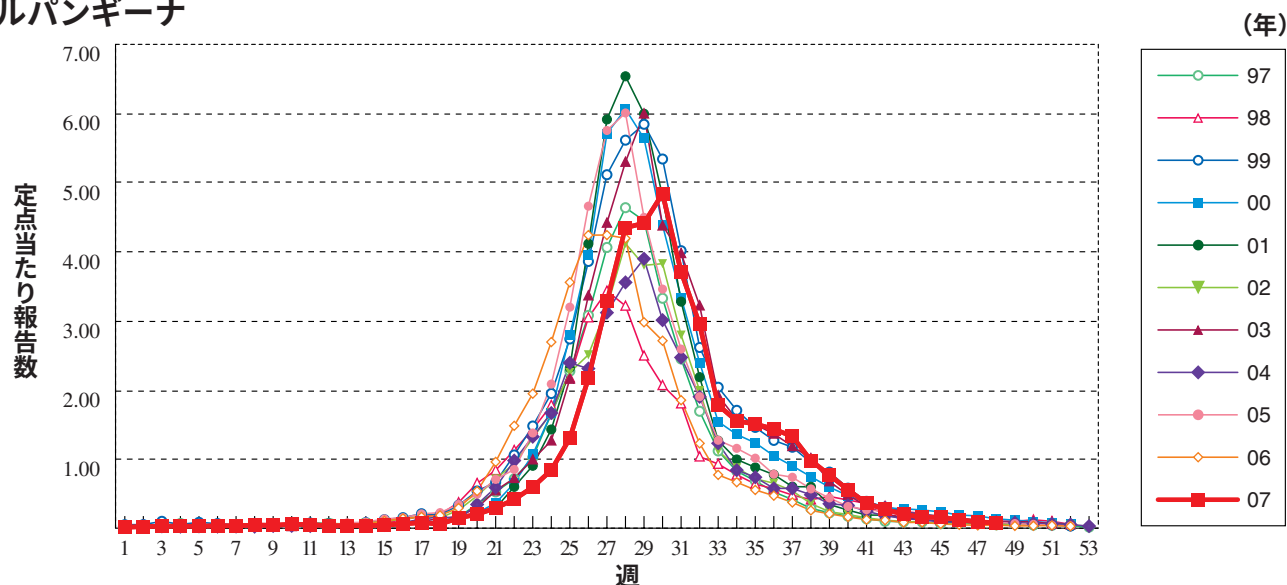
百日咳



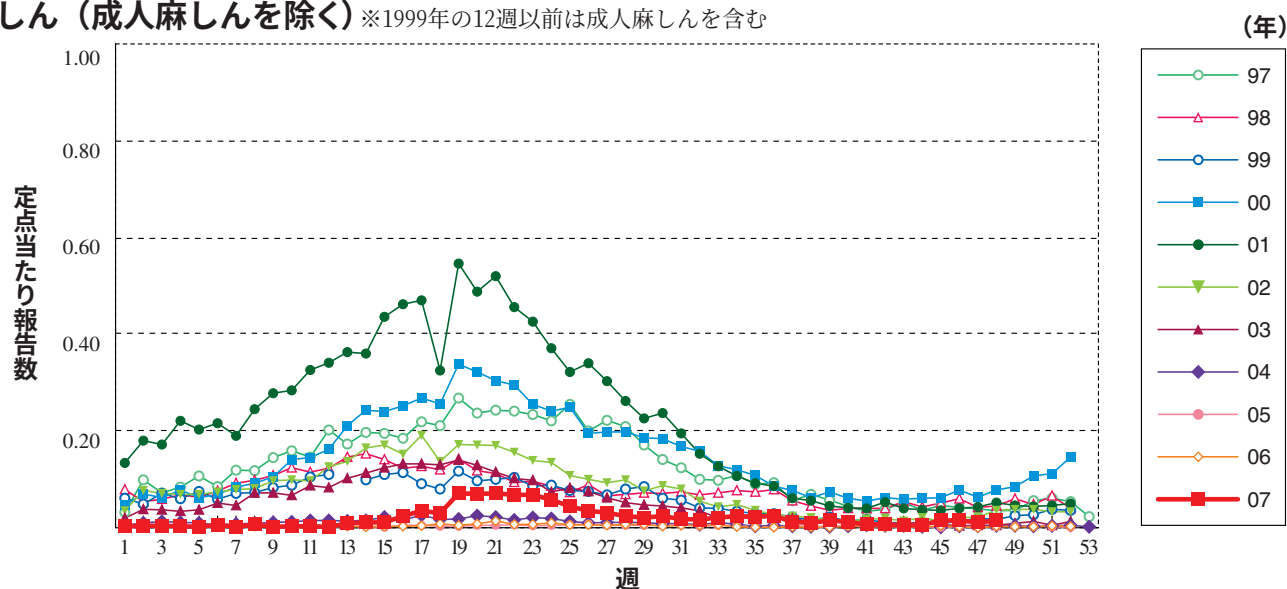
風しん



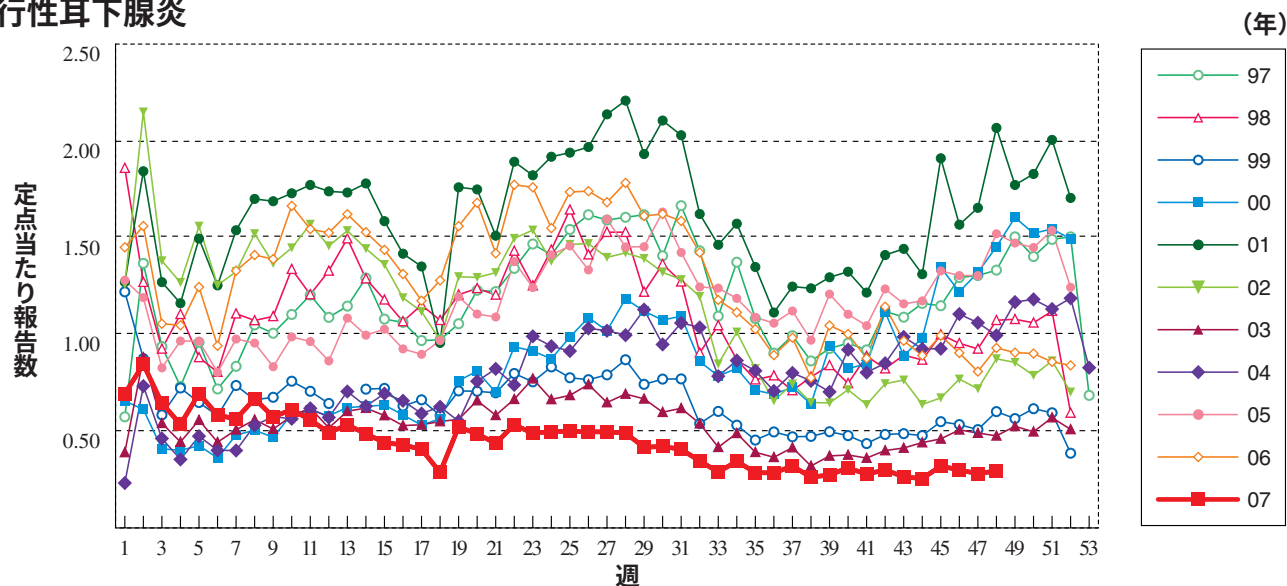
ヘルパンギーナ



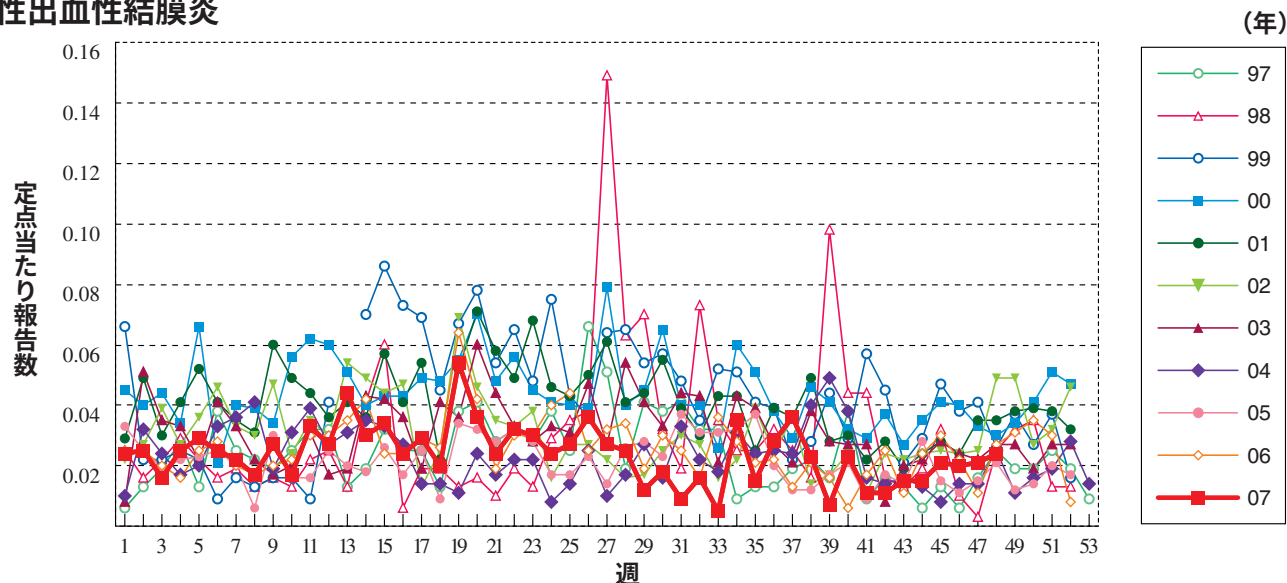
麻しん (成人麻しんを除く) ※1999年の12週以前は成人麻しんを含む



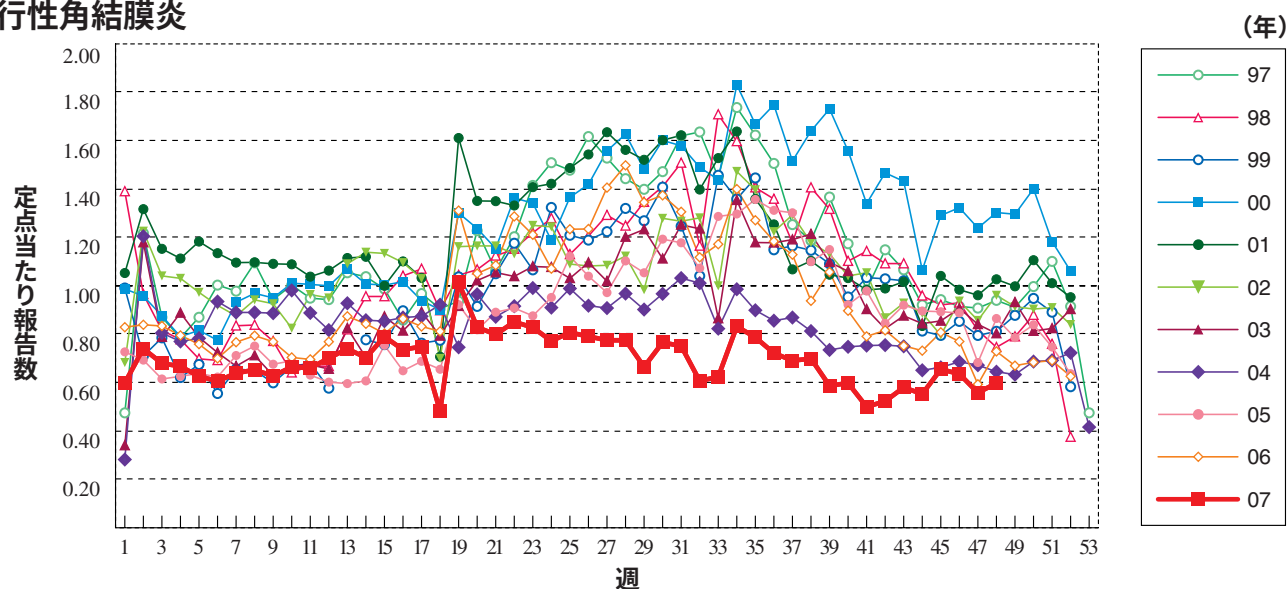
流行性耳下腺炎



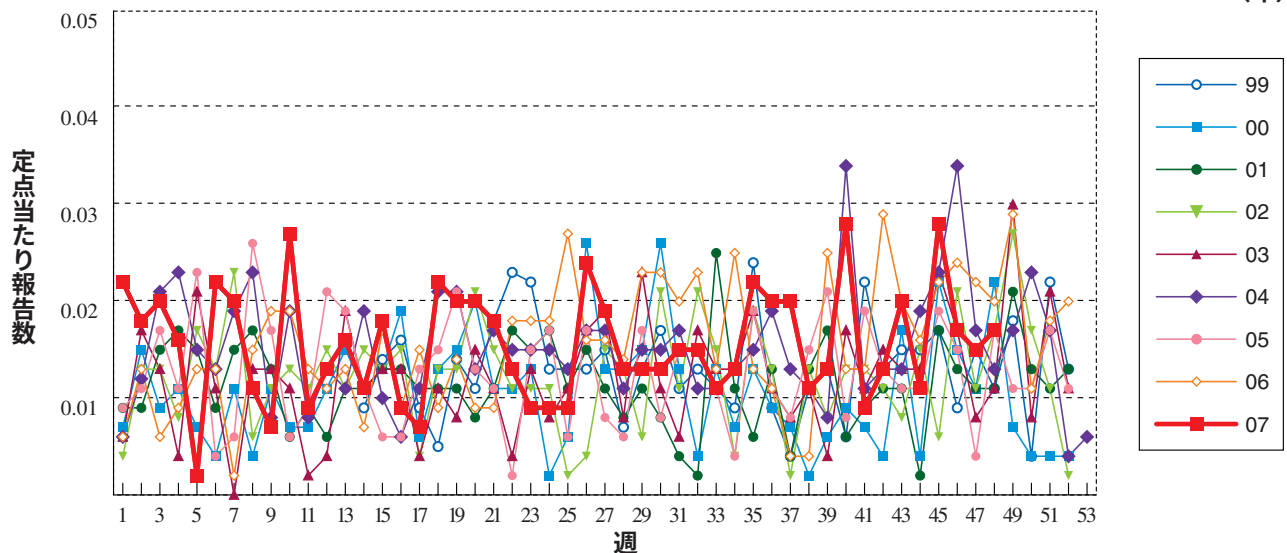
急性出血性結膜炎



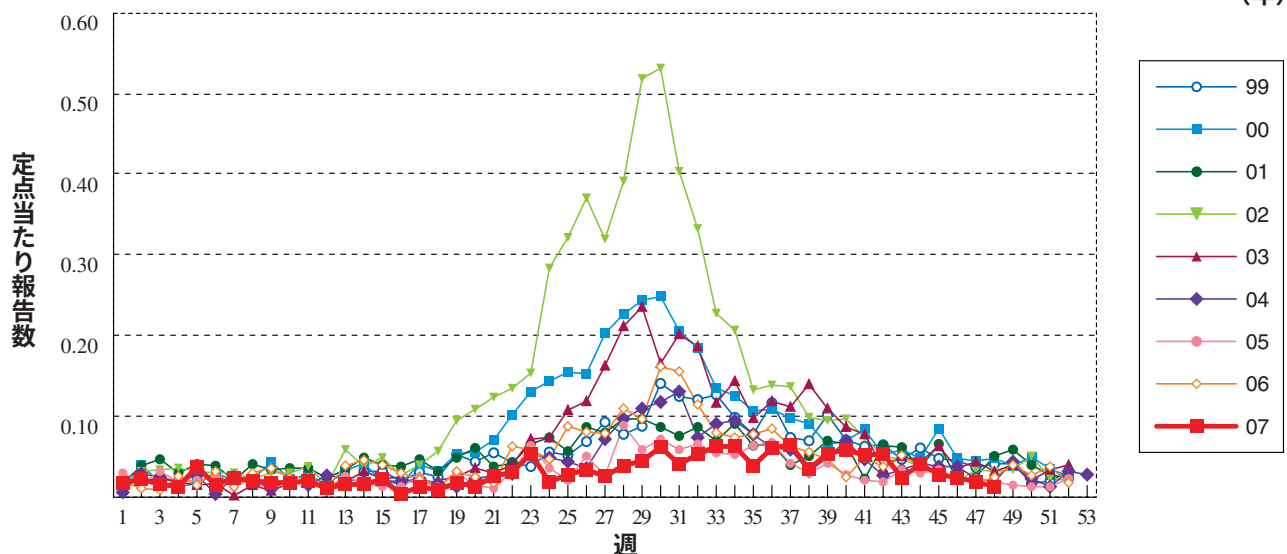
流行性角結膜炎



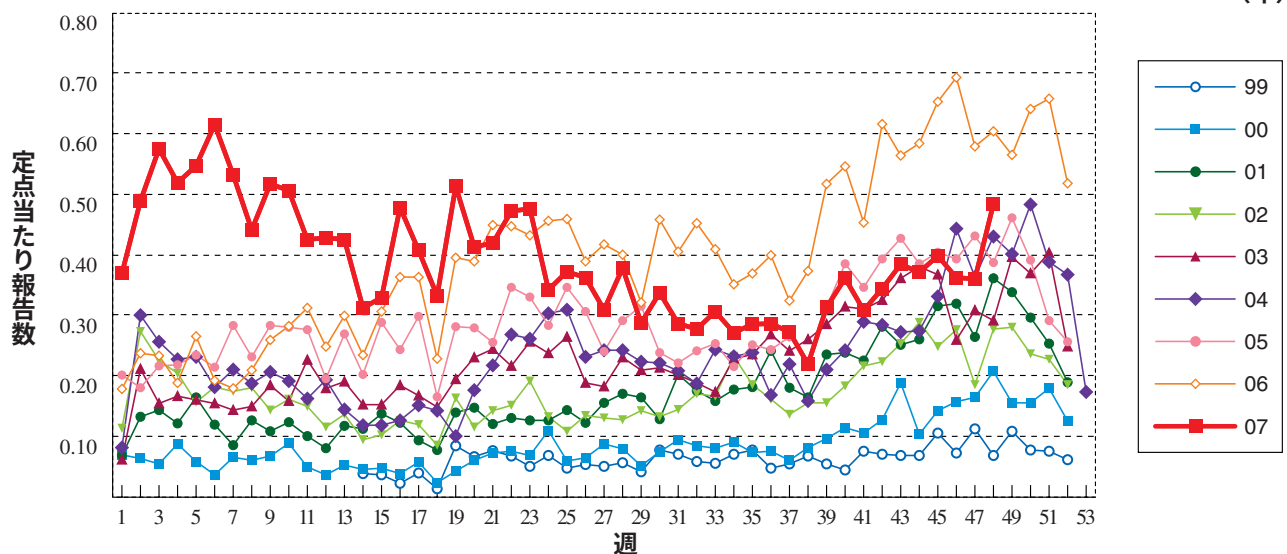
細菌性髄膜炎



無菌性髄膜炎

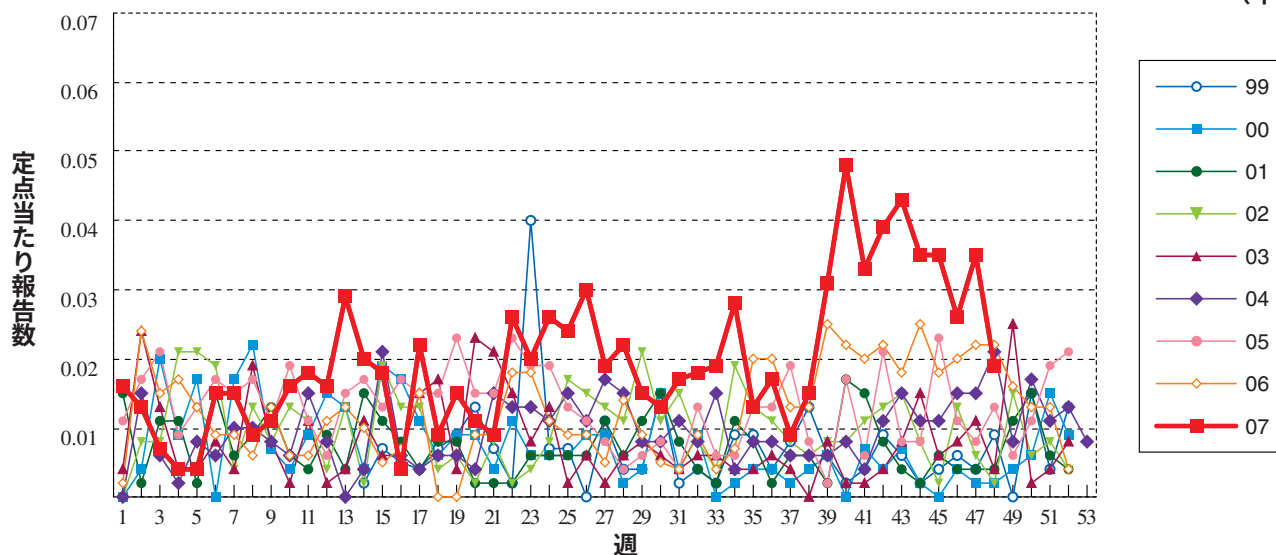


マイコプラズマ肺炎



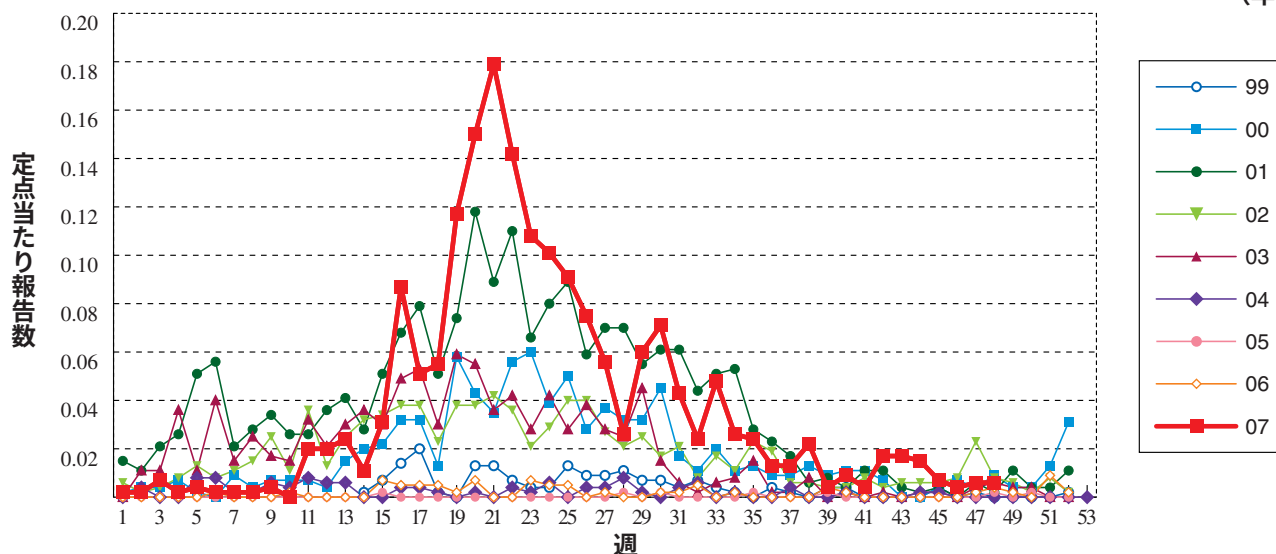
クラミジア肺炎（オウム病を除く）

(年)



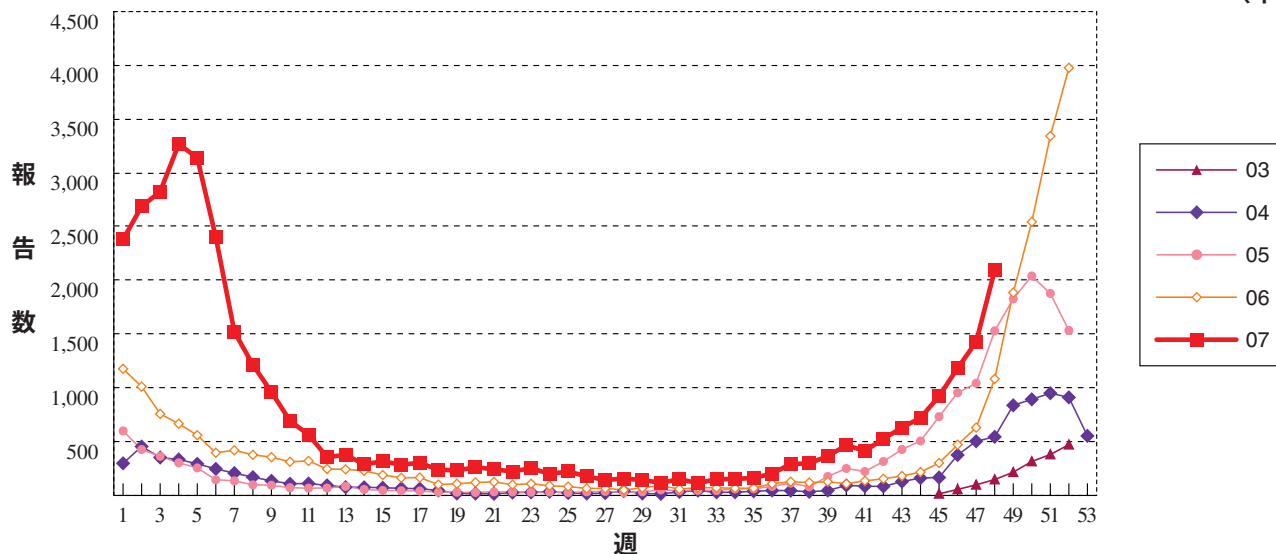
成人麻疹

(年)



RSウイルス感染症 ※定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。

(年)





48週のデータ

注1) 表中の報告数は12月6日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
2007年4月からの法改正に伴い、疾病の追加および並び順を一部変更しました。

*累積は2007年4月1日以降の報告数である。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年48週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペ ス ト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核*	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	236	17495
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	527
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	173
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	103
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	227
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	113
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	120
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	174
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	332
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	208
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	165
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	710
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18	914
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	45	2684
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	1095
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	256
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	144
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	146
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	108
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	50
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	176
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	313
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	371
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22	1245
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	277
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	163
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	460
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1517
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	610
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	197
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	157
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	68
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	88
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	235
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	380
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	188
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	137
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	95
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	247
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	116
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	872
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	137
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	313
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	138
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	150
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	164
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	267
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	165

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年48週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	12	4	432	39	4474	-	44	1	19	-	50	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	6	-	109	-	1	-	-	-	9	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	2	1	37	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	89	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	4	251	-	1	-	2	-	3	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	59	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	54	-	2	-	1	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	49	-	-	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	38	-	1	-	1	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	73	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	67	-	150	-	3	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	1	42	2	175	-	1	-	1	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	3	80	7	466	-	11	1	6	-	3	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	21	2	173	-	-	-	2	-	3	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	32	-	1	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	80	-	-	-	1	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	3	128	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	48	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	18	-	1	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	60	-	-	-	-	-	2	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	44	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	31	2	76	-	1	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	25	-	162	-	3	-	-	-	8	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	29	-	1	-	-	-	4	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	1	55	-	-	-	1	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	6	1	101	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	2	-	53	-	429	-	9	-	1	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	1	-	7	1	193	-	4	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	44	-	-	-	1	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	34	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	30	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	23	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	97	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	16	5	101	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	46	-	1	-	-	-	1	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	7	2	236	-	-	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	2	45	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	4	92	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	129	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	68	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	128	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	63	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	A型肝炎		エキノコックス症		黄 熱		オウム病		オムスク出血熱		回 帰 熱		キャサナル 森 林 病		Q 熱		狂 犬 病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	141	-	15	-	-	-	29	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
北海道	-	9	-	12	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	5	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	17	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
神奈川県	-	11	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
三重県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭 痘		つつが虫病		デング熱		東部ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	220	1	84	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	34	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11	-	7	-	-
東京都	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	10	-	22	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	-	9	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	12	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	6	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	6	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	-	2	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	29	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	鳥 インフルエンザ		ニパウイルス 感 染 症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽		ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	89	-	9	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	ヘンドラウイルス 感 染 症		発しんチフス		ボツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感 染 症		リフトバレー熱		類 鼻 痘	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	3	1	49	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	21	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年48週

	レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	7	599	-	27	-	-	9	709	2	214	-	204	-	6	6	132	1	90
北海道	-	28	-	-	-	-	-	23	-	5	-	12	-	-	-	2	-	6
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	1	-	-
岩手県	1	4	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	-	-	27	-	3	-	2	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	5	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	10	-	-	-	-	-	4	-	1	-	5	-	-	-	-	-	2
福島県	1	12	-	-	-	-	-	6	-	3	-	3	-	-	-	1	-	1
茨城県	-	17	-	-	-	-	-	10	1	3	-	9	-	-	-	1	-	3
栃木県	-	4	-	1	-	-	-	6	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	10	-	-	-	-	-	4	-	4	-	3	-	-	-	5	-	-
埼玉県	-	29	-	1	-	-	-	25	-	1	-	11	-	-	-	4	-	5
千葉県	-	18	-	-	-	-	-	33	-	-	-	15	-	-	-	8	-	4
東京都	-	51	-	3	-	-	2	156	1	37	-	17	-	1	2	14	-	6
神奈川県	-	40	-	1	-	-	3	75	-	15	-	5	-	1	-	8	-	11
新潟県	1	19	-	1	-	-	-	3	-	-	-	7	-	1	-	5	-	2
富山県	-	13	-	-	-	-	-	2	-	3	-	1	-	-	-	1	-	2
石川県	-	12	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2	-	1	-	3	-	-
福井県	-	4	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	5	-	-	-	-	-	5	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	14	-	-	-	-	-	13	-	4	-	3	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	17	-	-	-	-	-	5	-	2	-	-	-	-	-	2	1	1
静岡県	-	27	-	1	-	-	-	21	-	2	-	2	-	-	1	4	-	3
愛知県	-	38	-	-	-	-	3	49	-	7	-	4	-	-	-	6	-	5
三重県	-	10	-	-	-	-	-	5	-	2	-	3	-	-	-	2	-	1
滋賀県	-	7	-	-	-	-	1	14	-	2	-	2	-	-	-	4	-	-
京都府	1	17	-	-	-	-	-	20	-	7	-	5	-	-	-	3	-	-
大阪府	1	36	-	-	-	-	-	68	-	25	-	30	-	-	-	6	-	4
兵庫県	-	21	-	-	-	-	-	33	-	14	-	10	-	-	-	8	-	3
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	3	-	-	-	-	-	7	-	5	-	2	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	4	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1	-	2
岡山県	-	8	-	-	-	-	-	6	-	13	-	1	-	-	-	2	-	3
広島県	-	25	-	-	-	-	-	9	-	10	-	3	-	1	-	3	-	5
山口県	-	7	-	-	-	-	-	6	-	-	-	8	-	-	1	4	-	1
徳島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	1	-	1
香川県	-	3	-	-	-	-	-	1	-	2	-	1	-	-	-	2	-	1
愛媛県	1	7	-	-	-	-	-	4	-	1	-	1	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	6	-	1
福岡県	-	18	-	1	-	-	-	24	-	11	-	6	-	1	1	4	-	2
佐賀県	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1
長崎県	1	8	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	5	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	1	2	-	-
大分県	-	6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	2	-	5	-	-	-	5	-	2	-	19	-	-	-	1	-	2
鹿児島県	-	6	-	-	-	-	-	2	-	1	-	6	-	-	-	2	-	3
沖縄県	-	7	-	13	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	後天性免疫不全 症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		梅 毒		破 傷 風		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症		バンコマイシン耐性 腸球菌感染症		インフルエンザ (H5N1)	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	8	1322	1	49	-	15	-	-	14	656	1	87	-	-	2	73	-	-
北海道	-	19	-	-	-	-	-	-	-	12	-	5	-	-	-	1	-	-
青森県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	3	-	-
岩手県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	14	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	7	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	2	-	-
茨城県	-	19	-	-	-	-	-	-	-	11	-	4	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	20	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	2	-	-
群馬県	-	18	-	-	-	1	-	-	-	7	-	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	32	-	-	-	-	-	-	-	24	-	1	-	-	-	1	-	-
千葉県	1	53	-	3	-	1	-	-	1	21	-	4	-	-	-	-	-	-
東京都	4	451	1	16	-	3	-	-	3	145	-	1	-	-	-	15	-	-
神奈川県	-	85	-	8	-	1	-	-	-	39	-	6	-	-	1	16	-	-
新潟県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	1	-	-
富山県	1	3	-	1	-	-	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	4	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	13	-	-	-	-	-	-	-	9	-	3	-	-	1	5	-	-
岐阜県	-	17	-	1	-	-	-	-	2	20	-	1	-	-	-	5	-	-
静岡県	-	35	-	-	-	-	-	-	-	17	-	2	-	-	-	4	-	-
愛知県	1	112	-	1	-	1	-	-	1	65	-	-	-	-	-	2	-	-
三重県	-	14	-	1	-	-	-	-	-	11	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	9	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	20	-	1	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	156	-	8	-	-	-	-	-	29	-	1	-	-	-	1	-	-
兵庫県	-	30	-	1	-	1	-	-	-	16	1	3	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	10	-	2	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	9	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
鳥取県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	9	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	1	20	-	2	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	1	-	-
山口県	-	5	-	-	-	-	-	-	1	9	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	10	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	6	-	-	-	1	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	33	-	-	-	1	-	-	2	38	-	3	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	5	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	9	-	-	-	-	-	-	2	50	-	6	-	-	-	-	-	-
大分県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	4	-	-	-	1	-	-	-	16	-	5	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	-	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	26	-	-	-	1	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-

*高病原性鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水 痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百 日 咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	10794	2.29	782	0.26	5453	1.81	41003	13.59	5013	1.66	1160	0.38	415	0.14	1835	0.61	95	0.03
北海道	3335	14.82	35	0.24	369	2.58	974	6.81	314	2.20	51	0.36	58	0.41	47	0.33	1	0.01
青森県	263	4.11	62	1.51	51	1.24	290	7.07	66	1.61	21	0.51	11	0.27	17	0.41	-	-
岩手県	13	0.21	13	0.33	61	1.56	276	7.08	116	2.97	25	0.64	14	0.36	15	0.38	-	-
宮城県	46	0.48	18	0.30	82	1.37	1076	17.93	175	2.92	44	0.73	11	0.18	52	0.87	-	-
秋田県	4	0.07	14	0.40	80	2.29	354	10.11	55	1.57	13	0.37	14	0.40	22	0.63	-	-
山形県	5	0.10	8	0.27	72	2.40	504	16.80	57	1.90	11	0.37	10	0.33	25	0.83	1	0.03
福島県	69	0.86	11	0.23	90	1.88	469	9.77	179	3.73	9	0.19	3	0.06	34	0.71	1	0.02
茨城県	51	0.43	11	0.15	179	2.39	373	4.97	88	1.17	29	0.39	4	0.05	29	0.39	1	0.01
栃木県	25	0.34	1	0.02	91	1.94	357	7.60	95	2.02	10	0.21	4	0.09	18	0.38	2	0.04
群馬県	39	0.39	8	0.13	101	1.66	826	13.54	118	1.93	28	0.46	3	0.05	47	0.77	1	0.02
埼玉県	659	2.68	35	0.22	447	2.85	2308	14.70	239	1.52	38	0.24	20	0.13	97	0.62	1	0.01
千葉県	565	2.83	11	0.09	211	1.67	1289	10.23	178	1.41	59	0.47	31	0.25	83	0.66	20	0.16
東京都	651	2.28	28	0.19	364	2.44	2070	13.89	206	1.38	45	0.30	21	0.14	87	0.58	3	0.02
神奈川県	1181	3.87	10	0.05	326	1.67	2786	14.29	280	1.44	73	0.37	18	0.09	145	0.74	12	0.06
新潟県	25	0.26	24	0.39	141	2.31	725	11.89	235	3.85	26	0.43	40	0.66	54	0.89	4	0.07
富山県	43	0.90	3	0.10	81	2.79	535	18.45	71	2.45	7	0.24	1	0.03	18	0.62	-	-
石川県	20	0.42	14	0.48	80	2.76	689	23.76	80	2.76	-	-	5	0.17	17	0.59	-	-
福井県	15	0.47	7	0.32	41	1.86	295	13.41	44	2.00	1	0.05	5	0.23	14	0.64	-	-
山梨県	112	2.80	27	1.13	43	1.79	190	7.92	14	0.58	-	-	4	0.17	-	-	-	-
長野県	151	1.72	19	0.35	138	2.51	420	7.64	144	2.62	13	0.24	4	0.07	26	0.47	-	-
岐阜県	40	0.47	14	0.26	28	0.53	356	6.72	46	0.87	7	0.13	6	0.11	20	0.38	12	0.23
静岡県	262	2.13	9	0.10	235	2.73	984	11.44	112	1.30	12	0.14	4	0.05	58	0.67	2	0.02
愛知県	122	0.63	20	0.11	309	1.70	2253	12.38	204	1.12	99	0.54	18	0.10	126	0.69	4	0.02
三重県	35	0.48	11	0.24	81	1.80	471	10.47	83	1.84	32	0.71	14	0.31	35	0.78	-	-
滋賀県	44	0.83	7	0.22	32	1.00	380	11.88	57	1.78	4	0.13	2	0.06	18	0.56	-	-
京都府	49	0.40	-	-	97	1.29	760	10.13	65	0.87	21	0.28	3	0.04	17	0.23	3	0.04
大阪府	253	0.99	89	0.47	283	1.48	2334	12.22	247	1.29	48	0.25	14	0.07	120	0.63	7	0.04
兵庫県	1032	5.19	16	0.12	214	1.66	1726	13.38	166	1.29	15	0.12	9	0.07	50	0.39	5	0.04
奈良県	45	0.82	8	0.23	20	0.57	361	10.31	31	0.89	19	0.54	2	0.06	10	0.29	-	-
和歌山県	319	6.38	4	0.13	35	1.13	271	8.74	42	1.35	2	0.06	4	0.13	17	0.55	2	0.06
鳥取県	6	0.21	7	0.37	45	2.37	267	14.05	24	1.26	27	1.42	6	0.32	13	0.68	-	-
島根県	4	0.12	10	0.43	27	1.17	323	14.04	37	1.61	25	1.09	2	0.09	16	0.70	-	-
岡山県	607	7.23	13	0.24	30	0.56	739	13.69	83	1.54	7	0.13	8	0.15	14	0.26	-	-
広島県	197	1.71	54	0.75	86	1.19	897	12.46	142	1.97	13	0.18	6	0.08	39	0.54	3	0.04
山口県	152	2.17	17	0.35	171	3.49	899	18.35	126	2.57	33	0.67	2	0.04	51	1.04	-	-
徳島県	44	1.05	-	-	28	1.22	261	11.35	25	1.09	9	0.39	1	0.04	18	0.78	1	0.04
香川県	29	0.60	20	0.69	18	0.62	357	12.31	21	0.72	9	0.31	-	-	22	0.76	2	0.07
愛媛県	27	0.44	3	0.08	68	1.84	451	12.19	90	2.43	30	0.81	3	0.08	34	0.92	-	-
高知県	14	0.29	3	0.10	26	0.87	338	11.27	28	0.93	30	1.00	4	0.13	16	0.53	-	-
福岡県	31	0.16	31	0.26	173	1.44	3205	26.71	222	1.85	51	0.43	4	0.03	100	0.83	6	0.05
佐賀県	10	0.26	25	1.09	46	2.00	667	29.00	19	0.83	12	0.52	-	-	21	0.91	-	-
長崎県	5	0.07	16	0.36	51	1.16	1527	34.70	92	2.09	5	0.11	2	0.05	22	0.50	-	-
熊本県	10	0.13	14	0.29	61	1.27	1255	26.15	82	1.71	4	0.08	2	0.04	38	0.79	-	-
大分県	20	0.34	15	0.42	62	1.72	1155	32.08	68	1.89	51	1.42	9	0.25	36	1.00	-	-
宮崎県	6	0.10	4	0.11	68	1.89	675	18.75	69	1.92	18	0.50	5	0.14	31	0.86	1	0.03
鹿児島県	9	0.10	9	0.16	102	1.82	1197	21.38	38	0.68	40	0.71	2	0.04	29	0.52	-	-
沖縄県	150	2.59	4	0.12	9	0.26	88	2.59	40	1.18	34	1.00	2	0.06	17	0.50	-	-

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	7	0.00	217	0.07	44	0.01	888	0.29	16	0.02	400	0.60	8	0.02	6	0.01	224	0.48
北海道	-	-	8	0.06	12	0.08	22	0.15	1	0.03	12	0.41	-	-	-	-	5	0.22
青森県	3	0.07	2	0.05	3	0.07	5	0.12	2	0.18	7	0.64	-	-	-	-	3	0.50
岩手県	-	-	16	0.41	-	-	11	0.28	-	-	7	0.58	-	-	-	-	13	0.65
宮城県	1	0.02	2	0.03	-	-	25	0.42	2	0.17	2	0.17	-	-	-	-	28	2.33
秋田県	-	-	9	0.26	-	-	41	1.17	-	-	1	0.14	-	-	-	-	1	0.13
山形県	-	-	-	-	-	-	15	0.50	-	-	5	0.63	-	-	-	-	15	1.50
福島県	-	-	9	0.19	-	-	7	0.15	-	-	16	1.33	-	-	-	-	18	2.57
茨城県	-	-	1	0.01	-	-	3	0.04	3	0.18	33	1.94	-	-	-	-	2	0.15
栃木県	-	-	5	0.11	-	-	18	0.38	-	-	19	1.58	-	-	-	-	5	0.71
群馬県	-	-	8	0.13	-	-	51	0.84	-	-	24	1.71	1	0.13	-	-	14	1.75
埼玉県	-	-	21	0.13	1	0.01	29	0.18	-	-	23	0.56	-	-	-	-	11	1.22
千葉県	1	0.01	11	0.09	3	0.02	43	0.34	-	-	15	0.47	-	-	-	-	3	0.33
東京都	1	0.01	12	0.08	-	-	29	0.19	3	0.08	10	0.26	1	0.04	-	-	13	0.52
神奈川県	-	-	7	0.04	5	0.03	32	0.16	2	0.05	32	0.78	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	10	0.16	-	-	63	1.03	-	-	7	0.64	-	-	-	-	11	0.92
富山県	-	-	2	0.07	-	-	9	0.31	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	1.60
石川県	-	-	-	-	-	-	1	0.03	-	-	3	0.43	1	0.20	-	-	2	0.40
福井県	-	-	-	-	-	-	4	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.17
山梨県	-	-	3	0.13	-	-	3	0.13	-	-	3	0.33	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	17	0.31	-	-	-	-	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	6	0.11	-	-	27	0.51	-	-	2	0.18	2	0.40	1	0.20	1	0.20
静岡県	-	-	6	0.07	-	-	26	0.30	-	-	11	0.55	-	-	-	-	4	0.44
愛知県	-	-	15	0.08	2	0.01	57	0.31	-	-	7	0.21	-	-	-	-	5	0.33
三重県	-	-	3	0.07	-	-	3	0.07	-	-	1	0.08	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	-	-	-	-	9	0.28	-	-	1	0.14	-	-	1	0.14	1	0.14
京都府	-	-	4	0.05	-	-	9	0.12	-	-	5	0.28	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	7	0.04	8	0.04	52	0.27	2	0.04	20	0.44	-	-	-	-	15	1.15
兵庫県	-	-	3	0.02	5	0.04	54	0.42	-	-	27	0.77	1	0.09	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.33	1	0.17	1	0.17	1	0.17
和歌山県	-	-	-	-	-	-	5	0.16	-	-	2	0.50	-	-	-	-	3	0.27
鳥取県	-	-	1	0.05	-	-	1	0.05	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	1	0.20
島根県	-	-	-	-	-	-	6	0.26	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	6	0.11	-	-	9	0.17	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	4	0.06	-	-	13	0.18	-	-	18	0.95	-	-	-	-	2	0.10
山口県	1	0.02	4	0.08	-	-	6	0.12	-	-	5	0.56	-	-	-	-	1	0.11
徳島県	-	-	3	0.13	-	-	2	0.09	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	3	0.10	-	-	3	0.10	-	-	4	1.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	10	0.27	-	-	9	1.13	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	1	0.03	-	-	25	0.83	-	-	1	0.33	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	10	0.08	3	0.03	45	0.38	-	-	27	1.04	1	0.07	-	-	2	0.14
佐賀県	-	-	1	0.04	-	-	11	0.48	-	-	2	0.50	-	-	-	-	4	0.67
長崎県	-	-	1	0.02	-	-	17	0.39	1	0.13	7	0.88	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	6	0.13	-	-	17	0.35	-	-	4	0.44	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	3	0.08	2	0.06	18	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	3	0.08	-	-	28	0.78	-	-	3	0.50	-	-	-	-	2	0.29
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	2	0.04	-	-	6	0.86	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	-	-	1	0.03	-	-	5	0.15	-	-	5	0.50	-	-	-	-	19	2.71

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2007年48週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	3	0.01	2094
北海道	-	-	-	-	99
青森県	-	-	-	-	16
岩手県	-	-	-	-	23
宮城県	-	-	-	-	55
秋田県	-	-	-	-	4
山形県	1	0.10	-	-	14
福島県	3	0.43	-	-	67
茨城県	-	-	-	-	10
栃木県	-	-	-	-	32
群馬県	-	-	-	-	38
埼玉県	-	-	1	0.11	77
千葉県	-	-	-	-	47
東京都	-	-	-	-	85
神奈川県	-	-	1	0.14	89
新潟県	1	0.08	-	-	9
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	23
福井県	1	0.17	-	-	17
山梨県	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	34
静岡県	-	-	-	-	15
愛知県	-	-	-	-	143
三重県	-	-	-	-	25
滋賀県	-	-	-	-	4
京都府	-	-	-	-	31
大阪府	-	-	1	0.08	341
兵庫県	1	0.09	-	-	88
奈良県	-	-	-	-	3
和歌山県	1	0.09	-	-	21
鳥取県	-	-	-	-	60
島根県	-	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	29
広島県	-	-	-	-	24
山口県	-	-	-	-	59
徳島県	-	-	-	-	42
香川県	-	-	-	-	29
愛媛県	-	-	-	-	20
高知県	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	249
佐賀県	-	-	-	-	26
長崎県	-	-	-	-	11
熊本県	-	-	-	-	55
大分県	-	-	-	-	21
宮崎県	-	-	-	-	32
鹿児島県	1	0.08	-	-	17
沖縄県	-	-	-	-	3

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

(注)報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2007年48週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群 (SARS)						結 核		細菌性赤痢		ウエストナイル熱	
	サル		サル		プレーリードッグ		イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		サル		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	47	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	11	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2007年48週

	エキノコックス症		インフルエンザ(H5N1)	
	犬		鳥類	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	1	-	5
北海道	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	1
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第9巻 第48号 2007年12月14日発行
発 行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課

厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

<国立感染症研究所 感染症情報センター>

<http://www.mhlw.go.jp/>

<厚生労働省>

<http://www.forth.go.jp/>

<旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。